NEC データプロジェクター

NEC

ViewLight®

ビューライト

NP216J/NP215J/NP210J/NP115J/NP110J

取扱説明書［詳細版］

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

はじめに

このたびは、NEC データプロジェクター NP216J/NP215J/NP210J/NP115J/NP110J（以降「NP216J/NP215J/NP210J/NP115J/NP110J 本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、コンピュータや DVD プレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本書は、NP216J/NP215J/NP210J/NP115J/NP110J 共通の取扱説明書です。NP215J を主にして説明しています。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

※ モデル名について
プロジェクター本体には、モデル名を「NP216」、「NP215」、「NP210」、「NP115」または「NP110」と表記しています。
取扱説明書では、モデル名を「NP216J」、「NP215J」、「NP210J」、「NP115J」または「NP110J」と末尾に「J」を付けて表記しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2010 年 4 月　2 版

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です

国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

● 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

● 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に

● 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
・ コードの上に重い物をのせない
・ コードをプロジェクターの下敷きにしない
・ コードの上を敷物などで覆わない
・ コードを傷つけない、加工しない
・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
・ コードを加熱しない
電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

● 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
・ 風呂やシャワー室で使用しない
・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない

● 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
・ 暖房の近くや振動の多い所
・ 湿気やほこりの多い場所
・ 油煙や湯気の当たるような場所
・ 調理台や加湿器のそば

⚠警告

動作中にレンズにふたをしない

- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
  万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

ランプ交換は電源を切ってから

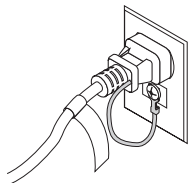
電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1 時間おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  詳細は 93 ページをご覧ください。

天吊りの設置について

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠注意

機器のアースは確実にとってください

- 本機の電源プラグはアースつき 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は32 ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。
  火災の原因となることがあります。
  プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない

- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない（適応機種 NP216J/NP215J）

- 本機の LAN ポート※は、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

※ NP210J/NP115J/NP110J に LAN ポートはありません。

⚠注意

ソフトケースの取り扱いについて

無理な扱いはしない

● プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。
プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

● 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・電池をショート、分解、火に入れたりしない
・指定以外の電池は使用しない
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
・電池を入れるときは、極性（＋と－の向き）に注意し、表示どおりに入れる
● 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について

内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

● 1 年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する

● プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意（適応機種 NP216J）

● 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッタ眼鏡に添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
● 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
・3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッタ眼鏡を使用しないでください。
・スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
・長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
・本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
・視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。

- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・たばこの煙･ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5 時間／日または 260 日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（84 ページ）
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・添付のソフトケースに収納して運んでください。
  - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
  - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
  - ・ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
  また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。

● 廃棄について
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

● 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
● プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
● ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
● ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
● ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

● 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

● 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

目次

5. オンスクリーンメニュー …………………………… 64

6. 本体のお手入れ／ランプの交換 …………………… 91

7. 付　録 …………………………………………… 97

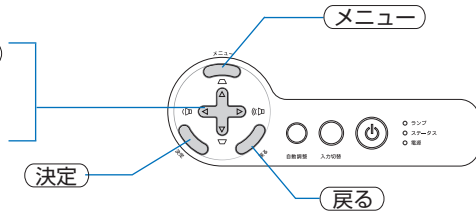
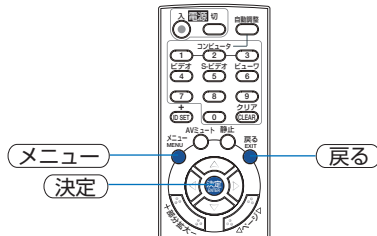
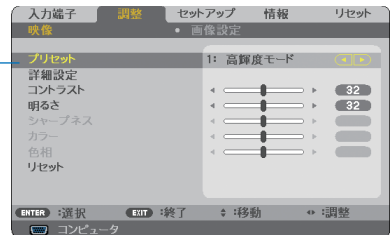
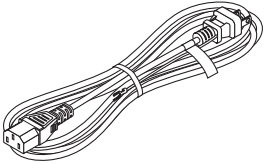
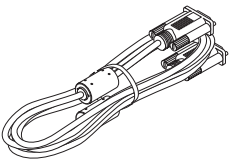
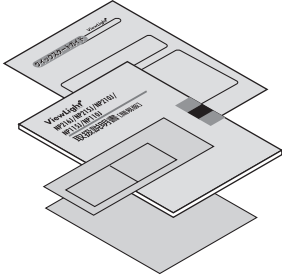
本書の表記について

マークの意味

重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
➡	本書内の参照ページを表しています。
適応機種	特定の機種についての説明を表しています。

本体イラストについて

本体イラストは、特に区別する必要がある場合を除いて、NP215J のものを使用しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

メニュー項目の表記例

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクター（本機） コンピュータや DVD プレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 **レンズキャップ（24F45801）** 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。
	リモコン（7N900891） 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。（23 ページ） **単 4 乾電池（リモコン用）2 本** 添付のリモコンにセットします。
	電源コード（アース付き）（7N080125） AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。
	コンピュータ接続ケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（7N520073） コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（26 ページ）
	ソフトケース（24BS8021） 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。

次ページに続く

	NEC Projector CD-ROM（7N951472） 取扱説明書 [詳細版] (本書) が PDF (Portable Document Format) 形式で収録されています。
	クイックスタートガイド（7N8N0951） 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。 **取扱説明書［簡易版］（7N8N0941）** 安全のために守っていただきたいこと、各部の名称、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。 **保証書** プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。 **ビューライトクラブ申込書** ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

●クイックスタート（7 秒）、クイックオフ（0 秒）、ダイレクトパワーオフ

パワーオンからわずか 7 秒で映像が表示され始めます（クイックスタート）。
パワーオフ後の冷却ファンの回転をなくしました（クイックオフ）。
また、投写中に AC 電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。
AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

●スタンバイ時の消費電力が 0.49 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「省電力」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.49 ワットになります。

●カーボンメータ表示

エコモード「オン」時の省エネ効果を CO_2 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します。

●プロジェクター本体やリモコンに日本語表示

プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに日本語表示のリモコンを標準添付して操作性を向上しています。

● 7 ワットのモノラルスピーカ内蔵

広い会議室や教室で視聴していただけるように、7ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。

●コンピュータ入力端子を 2 系統装備（適応機種 NP216J）

NP216J は、コンピュータ入力端子を 2 系統装備しています。

●圧縮表示により UXGA までの解像度に対応

NP216J/NP215J/NP210J は XGA（1024 × 768 ドット）に、NP115J/NP110J は SVGA（800 × 600 ドット）にリアル対応しています。圧縮表示により UXGA（1600 × 1200 ドット）の入力信号までカバーしています。

●オートパワーオン／オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入／切する機能があります。

- オートパワーオン（AC）………… 本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- オートパワーオン（COMP.）…… 本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- オートパワーオフ ………………… 設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- オフタイマー ……………………… 設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●無断使用を防止するセキュリティ機能

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- パスワードセキュリティ ………… オンスクリーンメニューでパスワードを設定すると、本機の電源を入れたときにパスワード入力画面を表示します。
- 盗難防止用ロック ………………… 本機は、ケンジントン・ロックに対応したセキュリティケーブルを接続することができます。
- セキュリティバー ………………… 本機は、一般的なセキュリティケーブル（またはワイヤー）を通す機構を装備しています。

●プロジェクターのコントロール ID 登録

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクター（コントロール ID 対応機種のみ）ごとに個別の操作を行うことができます。

●ネットワーク経由で本機のコントロールが可能（適応機種 NP216J/NP215J）

本機をネットワークに接続すると、コンピュータから本機の「電源入 / 切」、「入力切替」などの操作ができます（別途、コントロールソフトのダウンロードが必要です）。
また、本機の動作状態やランプの使用時間などの情報取得、さらに本機でエラーが発生したときにメールでお知らせすることができます。

● DLP® Link 方式の 3D 映像に対応（適応機種 NP216J）

3D 方式は、DLP® Link 方式に対応。液晶シャッタ眼鏡方式と言われる 3D 方式の 1 つです。スクリーンに左目用の画像と右目用の画像を高速に交互に投写し、専用の液晶シャッタ眼鏡を使って視聴します。DLP® Link 方式の液晶シャッタ眼鏡は、左目用の画像と右目用の画像に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光し画像が切り替わるタイミングと同期することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。
（41 ページ）

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。
（23 ページ）

排気口
ランプの熱を排気します。

レンズ
ここから映像が投写されます。

チルトレバー
チルトレバーを押し上げるとチルトフットを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、チルトレバーから指を離します。

チルトフット
チルトレバーを押し上げると上下に伸縮できます。
チルトフットを使って投写角度を調整します。（40 ページ）

レンズキャップ
レンズを保護します。（34 ページ）

ズームレバー
投写した画面の大きさを微調整します。（41 ページ）

本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
（18 ページ）

吸気口

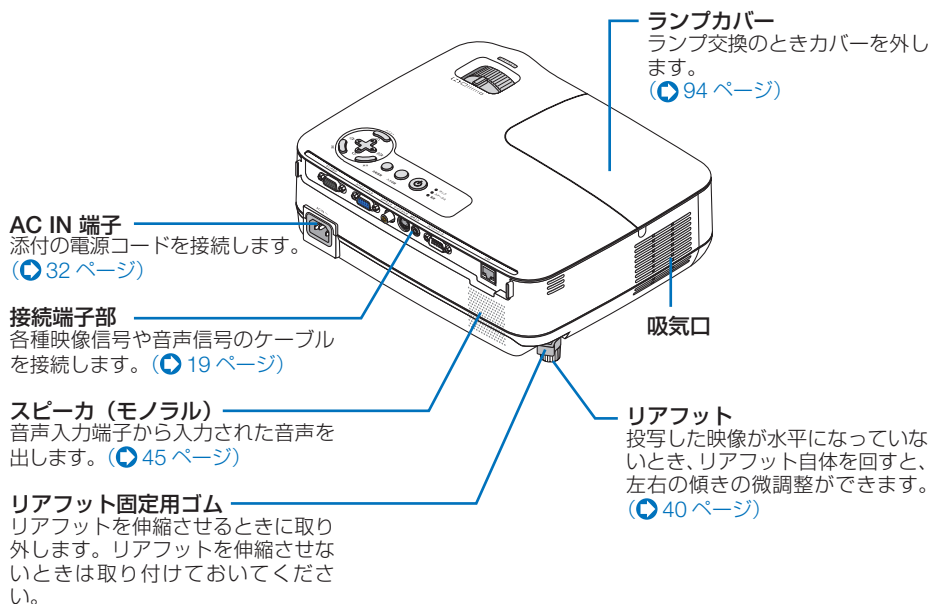
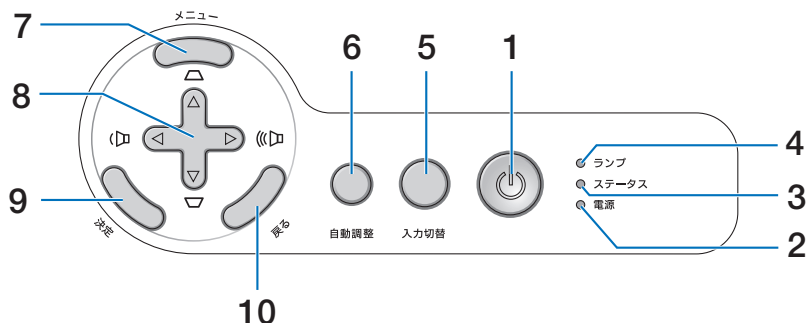
盗難防止用ロック
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくはこのページの参考をご覧ください。

セキュリティバー
盗難防止用チェーン（またはワイヤー）を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径4.6mm の太さのものまで対応しています。

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

  http://www.kensington.com/

本体背面

ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。
(94 ページ)
AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
(32 ページ)
接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(19 ページ)
吸気口
スピーカ（モノラル）
音声入力端子から入力された音声を出します。(45 ページ)
リアフット
投写した映像が水平になっていないとき、リアフット自体を回すと、左右の傾きの微調整ができます。
(40 ページ)
リアフット固定用ゴム
リアフットを伸縮させるときに取り外します。リアフットを伸縮させないときは取り付けておいてください。

本体操作部

1 ⏻ **ボタン(電源ボタン)**
本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を入れるときは、1秒以上押します。
電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押すと画面に電源切り確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度⏻ボタンを押します。

2 電源インジケータ
電源が入っているときは緑色に点灯します。
(➡102ページ)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

3 ステータスインジケータ
電源が切れているとき(スタンバイ状態)は緑色に点灯します(スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(➡102ページ)

4 ランプインジケータ
ランプの交換時期がきたことやエコモードの状態(オン／オフ)をお知らせします。
(➡103ページ)

5 (入力切替)ボタン
コンピュータ、ビデオ、S-ビデオの入力を切り替えます。
短く押すと信号選択画面を表示します。
また、2秒以上押し続けると次のように切り替わります。
→コンピュータ→ ビデオ→S-ビデオ
(NP216Jは、→コンピュータ1→コンピュータ2→ ビデオ→S-ビデオ)
入力信号がないときは次の信号に移ります。
(➡36ページ)

6 (自動調整)ボタン
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(➡44ページ)

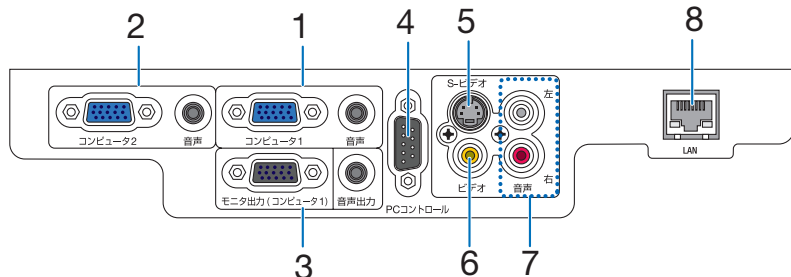
7 (メニュー)ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(➡64ページ)

8 (▽△◁▷)ボタン
(音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)
- オンスクリーンメニューを表示しているときに(▽△◁▷)ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
(➡64ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときは、(◁/▷)ボタンで音量の調整(➡45ページ)、(▽/△)ボタンで上下方向の台形歪みの調整ができます。(➡42ページ)

9 (決定)ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 (戻る)ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部

適応機種 NP216J

1 コンピュータ1映像入力端子（ミニD-Sub 15ピン）

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。（26, 29, 30ページ）

音声入力端子（ステレオ・ミニ）

コンピュータ1映像入力用の音声入力端子です。コンピュータやDVDプレーヤの音声出力端子と接続します。本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

2 コンピュータ2映像入力端子（ミニD-Sub 15ピン）

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。（26ページ）

音声入力端子（ステレオ・ミニ）

コンピュータ2映像入力用の音声入力端子です。コンピュータやDVDプレーヤの音声出力端子と接続します。本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

3 モニタ出力（コンピュータ1）端子（ミニD-Sub 15ピン）

コンピュータ1映像入力端子の映像信号を出力します。（27ページ）

音声出力端子（ステレオ・ミニ）

「コンピュータ1／コンピュータ2／ビデオ」のうち、投写されている映像の音声信号を出力します。音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がでなくなります。

4 PCコントロール端子（D-Sub 9ピン）

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

5 S-ビデオ映像入力端子（ミニDIN-4ピン）

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。（28, 30ページ）

6 ビデオ映像入力端子（RCA-フォノ）

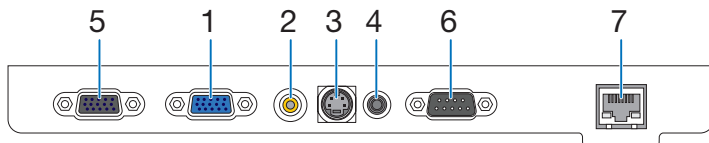
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。（28, 30ページ）

7 ビデオ／S-ビデオ音声入力端子（RCA-フォノ）

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。（28ページ）

8 LANポート（LAN）（RJ-45）

本機をLANに接続すると、本機のHTTPサーバ機能を利用し、コンピュータでWebブラウザを使用して本機を制御することができます。（31ページ）

適応機種 NP215J/NP210J/NP115J/NP110J

1 コンピュータ映像入力端子(ミニD-Sub 15ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。(➡26, 29, 30ページ)

2 ビデオ映像入力端子(RCA-フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。(➡28, 30ページ)

3 S-ビデオ映像入力端子(ミニDIN-4ピン)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。(➡28, 30ページ)

4 音声入力端子(ステレオ・ミニ)

コンピュータ映像入力、ビデオ映像入力、S-ビデオ映像入力の共通音声入力端子です。
入力切り替えには影響されず音声入力端子に接続している機器の音声が本機のスピーカから出力されます。
コンピュータやDVDプレーヤの音声出力端子と接続します。(➡26, 28, 29ページ)
本機のスピーカから出力される音声はモノラルです。

5 モニタ出力端子(ミニD-Sub 15ピン)

コンピュータ映像入力端子の映像信号を出力します。(➡27ページ)

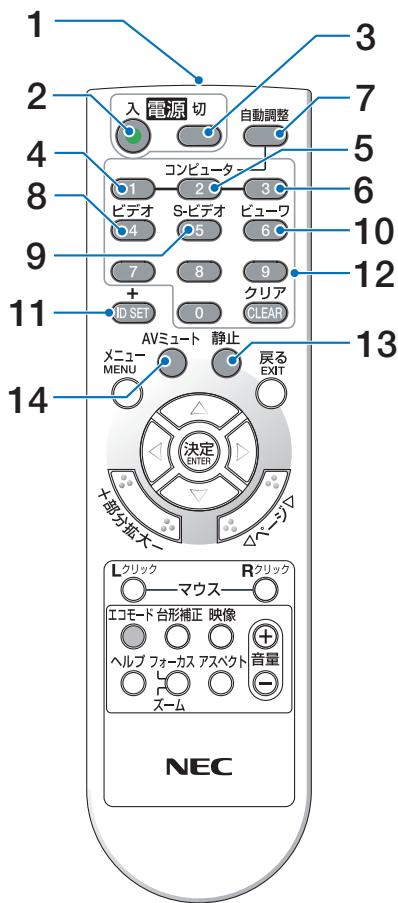
6 PCコントロール端子(D-Sub 9ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

7 LANポート(LAN)(RJ-45)

(NP215Jのみ)

本機をLANに接続すると、本機のHTTPサーバ機能を利用し、コンピュータでWebブラウザを使用して本機を制御することができます。(➡31ページ)

1-4. リモコン各部の名称

1　リモコン送信部
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2　電源(入)ボタン
約 1 秒押して、スタンバイ時（電源インジケータがオレンジ色※に点灯）に本機の電源を入れます。（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3　電源(切)ボタン
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)（または(決定)）ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4　(コンピュータ1)ボタン
NP216J 以外は、コンピュータ入力（またはコンポーネント）を選択します。
NP216J は、コンピュータ 1 入力を選択します。

5　(コンピュータ2)ボタン
NP216J でのみ使用でき、コンピュータ 2 入力を選択します。

6　(コンピュータ3)ボタン
（本機では使用できません）

7　(自動調整)ボタン
コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。（➡ 44 ページ）

8　(ビデオ)ボタン
ビデオ入力を選択します。

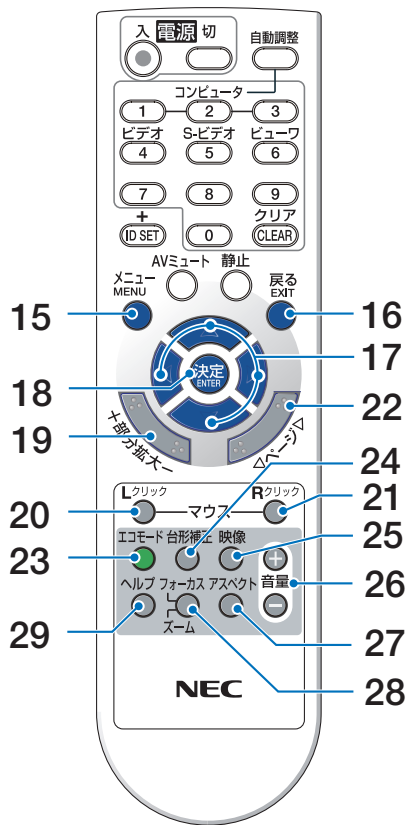
9　(S-ビデオ)ボタン
S- ビデオ入力を選択します。

10　(ビューワ)ボタン
（本機では使用できません）

11　(ID SET) ボタン
複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。（➡ 82 ページ）

12　数字 ((0)〜(9)) 入力ボタン
複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します（コントロール ID 設定）。
(CLEAR(クリア))ボタンはコントロールID設定を解除する場合に使用します。
（➡83ページ）

13　(静止)ボタン
表示されている画像が静止画となります。
もう一度押すと戻ります。（➡ 48 ページ）

14　(AVミュート)ボタン
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。（➡ 48 ページ）

15 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(➡ 64 ページ)

16 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

17 (▽△◁▷) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (部分拡大 +/−) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。また、コンピュータに別売のマウスレシーバを接続しているときは、コンピュータのマウスとして動作します。(➡ 56 ページ)

18 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

19 (部分拡大 +/−) ボタン

画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。
(➡ 49 ページ)

20 (マウス L クリック) ボタン

別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。(➡ 56 ページ)
マウスの左ボタンの動作をします。

21 (マウス R クリック) ボタン

別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。(➡ 56 ページ)
マウスの右ボタンの動作をします。

22 (ページ ◁/▷) ボタン

別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。(➡ 56 ページ)
画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。

23 (エコモード) ボタン

エコモード設定画面を表示します。
(➡ 50 ページ)

24 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。
(➡ 43 ページ)

25 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット(注) →コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(➡ 71, 73 ページ)
（注）NP216J は、3D 信号入力中、DLP® Link を「オン」にしているとき、プリセットの代わりに L/R 反転（3D）の設定画面を表示します。(➡ 87 ページ)

26 (音量 +/−) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。
(➡ 45 ページ)

27 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(➡ 75 ページ)

28 (フォーカス／ズーム) ボタン

(本機では使用できません)

29 (ヘルプ) ボタン

情報画面を表示します。(➡ 88 ページ)

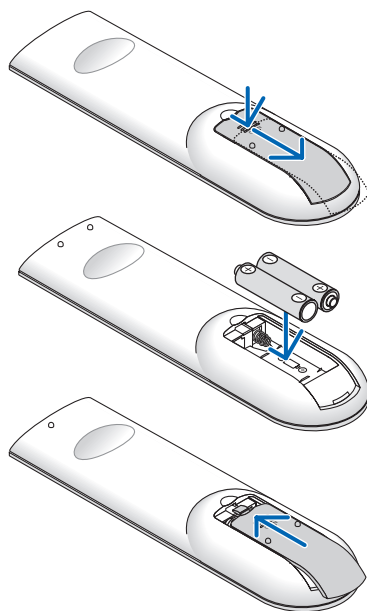
●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

2 ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単４乾電池をセットする。

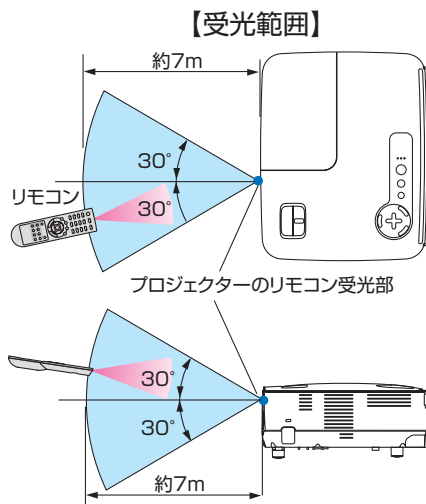
3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するつめがありますので、スライドさせて閉めてください。

- 乾電池を交換するときは、２本とも同じ種類の単４乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

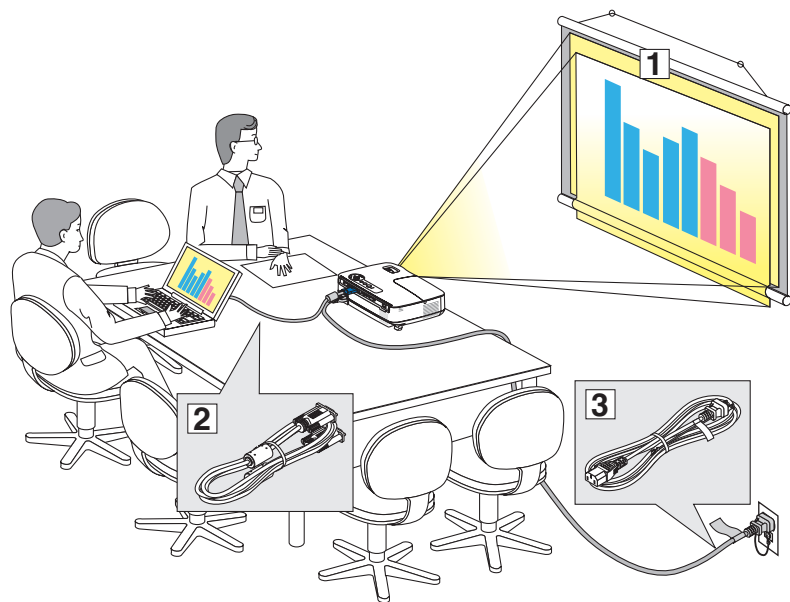
【受光範囲】

（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のない所で使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を２本とも取り出してください。

2. 設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。

ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する （次ページ）

ステップ 2

コンピュータや DVD プレーヤなどをプロジェクターに接続する

- コンピュータと接続する場合 （26 ページ）
- ディスプレイと接続する場合 （27 ページ）
- DVD プレーヤやビデオデッキなどの AV 機器と接続する場合 （28, 29 ページ）
- 書画カメラと接続する場合 （30 ページ）
- LAN と接続する場合 （31 ページ）

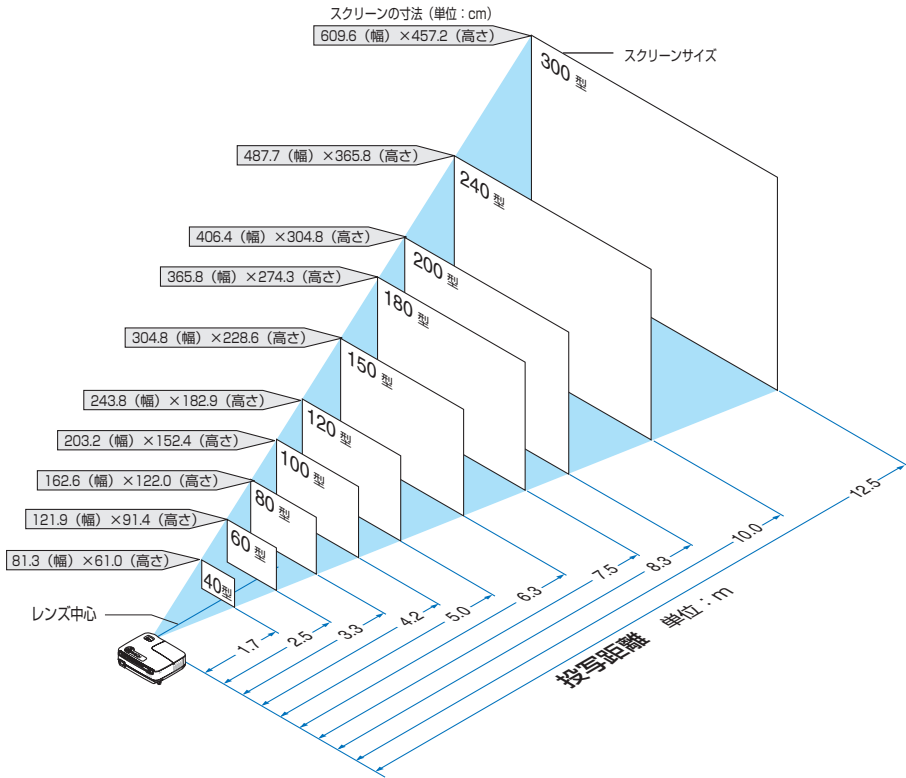
ステップ 3

電源コードを接続する （32 ページ）

2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

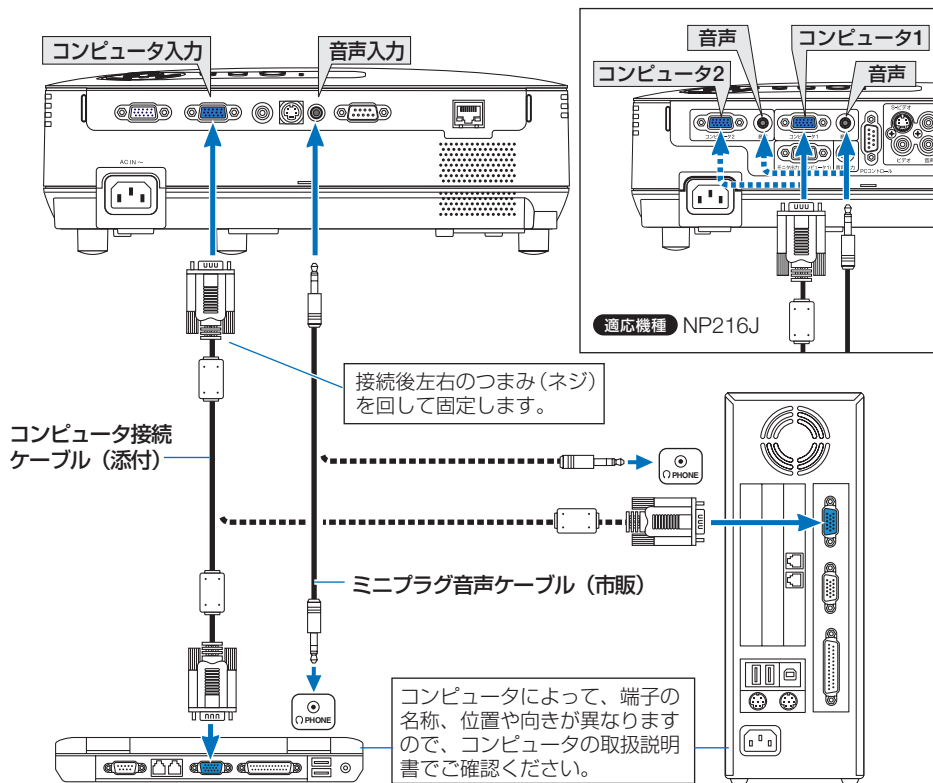
下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクターを設置してください。

例 1 ： 100 型スクリーンに投写する場合は、下図より 4.2m 離して設置します。
例 2 ： スクリーンから 6.3m 離してプロジェクターを設置すると、下図より約 150 型の画面となります。

スクリーンの寸法（単位：cm）
609.6（幅）×457.2（高さ）
スクリーンサイズ
300 型
487.7（幅）×365.8（高さ）
240 型
406.4（幅）×304.8（高さ）
200 型
365.8（幅）×274.3（高さ）
180 型
304.8（幅）×228.6（高さ）
150 型
243.8（幅）×182.9（高さ）
120 型
203.2（幅）×152.4（高さ）
100 型
162.6（幅）×122.0（高さ）
80 型
121.9（幅）×91.4（高さ）
60 型
81.3（幅）×61.0（高さ）
40 型
レンズ中心
1.7
2.5
3.3
4.2
5.0
6.3
7.5
8.3
10.0
12.5
投写距離　単位：m

● この図のスクリーン寸法は、ズームレバーのテレ（投写面積が最小）側とワイド（投写面積が最大）側の間の値です。
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±5%の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。

● 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」（104 ページ）をご覧ください。

2-3. コンピュータと接続する

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータ接続ケーブルで接続します。

注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

- コンピュータ映像入力端子（NP216J はコンピュータ 1 または 2 映像入力端子）は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています (DDC2B 対応)。
- Macintosh との接続では、Macintosh 用信号アダプタ（市販品）が必要になる場合があります。

2-4. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ映像入力端子（NP216J はコンピュータ 1 映像入力端子）に入力された信号だけがモニタ出力端子から出力されます。

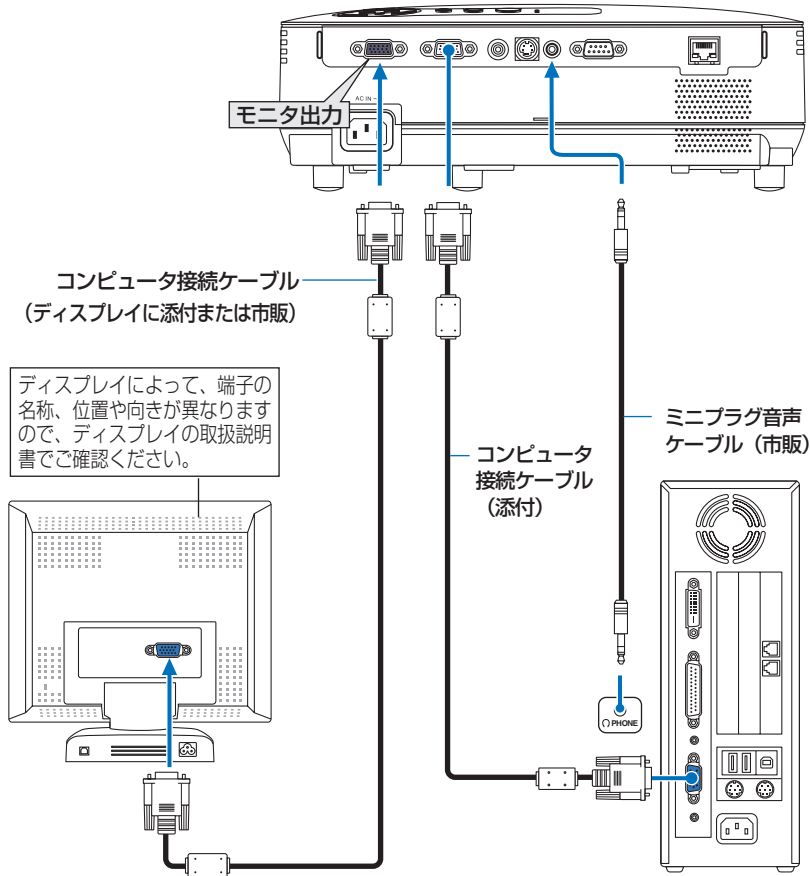
モニタ出力

コンピュータ接続ケーブル
（ディスプレイに添付または市販）

ディスプレイによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、ディスプレイの取扱説明書でご確認ください。

コンピュータ
接続ケーブル
（添付）

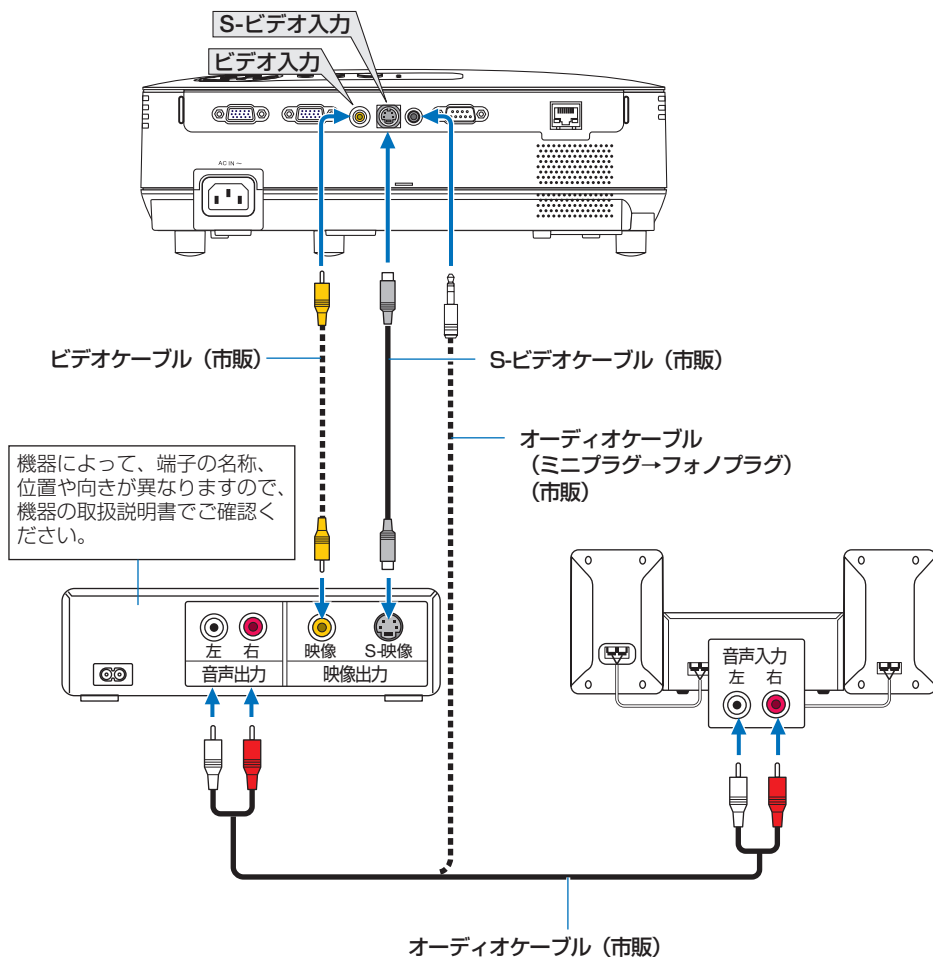
ミニプラグ音声
ケーブル（市販）

PHONE

- 本機のモニタ出力端子は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
  複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。

2-5. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

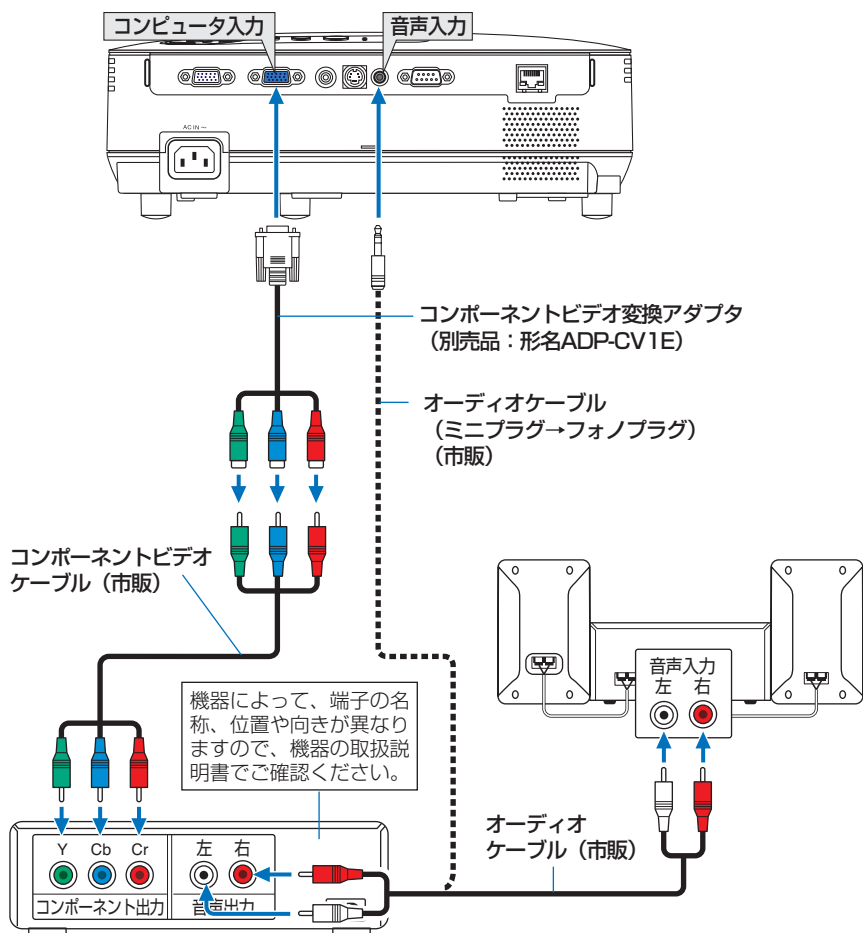
ビデオ信号／ S- ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。
本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

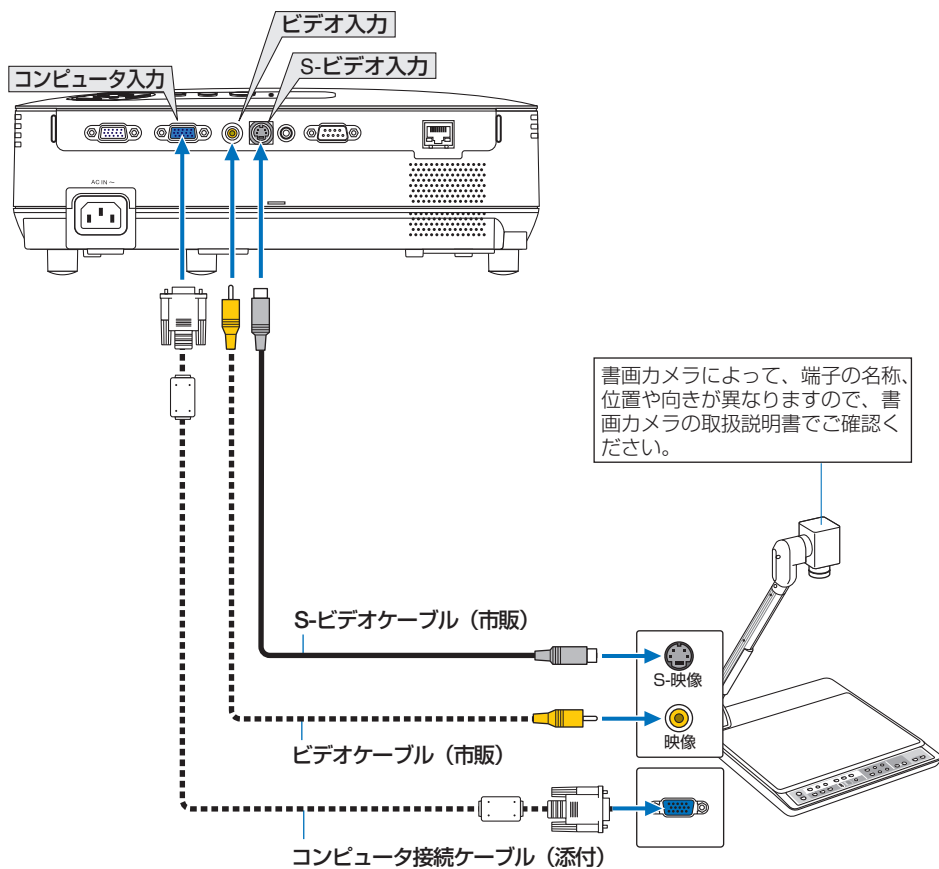
S-ビデオ入力
ビデオ入力
AC IN ～
ビデオケーブル（市販）
S-ビデオケーブル（市販）
オーディオケーブル
（ミニプラグ→フォノプラグ）
（市販）
機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。
左　右
音声出力
映像　S-映像
映像出力
音声入力
左　右
オーディオケーブル（市販）

- NP216J はビデオ入力と S- ビデオ入力の音声入力端子は共用です。
- NP216J 以外はコンピュータ入力とビデオ入力と S- ビデオ入力の音声入力端子が共用です。

コンポーネント信号の接続

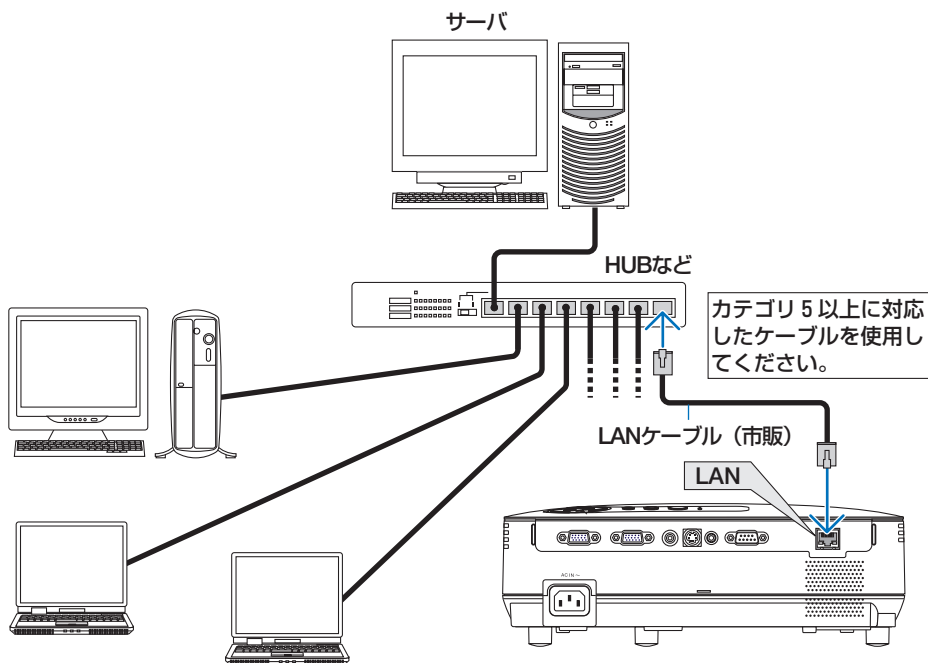
DVD プレーヤの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。
DVD プレーヤの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

コンピュータ入力
音声入力
コンポーネントビデオ変換アダプタ
（別売品：形名ADP-CV1E）
オーディオケーブル
（ミニプラグ→フォノプラグ）
（市販）
コンポーネントビデオ
ケーブル（市販）
音声入力
左　右
機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。
Y　Cb　Cr
コンポーネント出力
左　右
音声出力
オーディオ
ケーブル（市販）

- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ（形名 ADP-DT1E）をお使いください。

2-6. 書画カメラと接続する

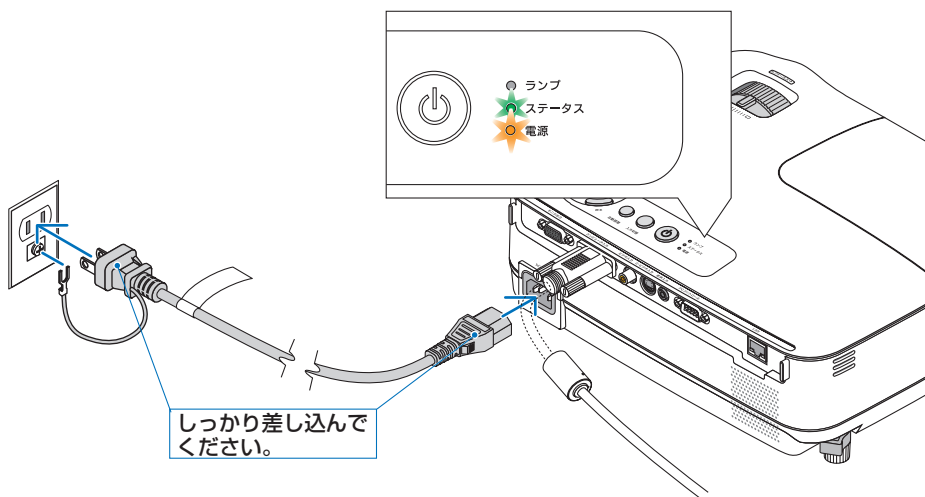
本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。

2-7. LANと接続する（適応機種 NP216J/NP215J）

本機にはLANポート（RJ-45）が標準装備されています。LANケーブルを接続するとHTTPサーバ機能を使って本機にLANの設定が行えます。本機をLAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。本機へのLANの設定について詳しくは、「4-7. HTTPを使用したブラウザによるネットワークの設定」（57ページ）をご覧ください。

接続例

2-8. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コード（国内仕様）で接続します。

	機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。 アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータがオレンジ色※に点灯します（スタンバイ状態）。
また、ステータスインジケータが緑色※に点灯します。
※ いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。（➡ 102 ページ）

	電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

3. 映像を投写する(基本操作)

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (➡次ページ)

ステップ 2

入力信号を選択する (➡36 ページ)

ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (➡39 ページ)
台形歪みを調整する (➡41 ページ)

ステップ 4

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (➡44 ページ)
・本機の音量を調整する場合 (➡45 ページ)

ステップ 5

プレゼンテーションを行う

ステップ 6

本機の電源を切る (➡46 ページ)

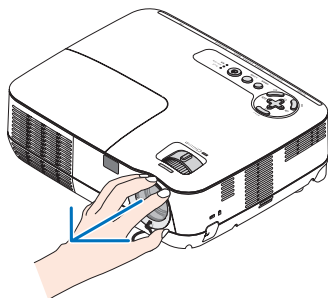
ステップ 7

あとかたづけ (➡47 ページ)

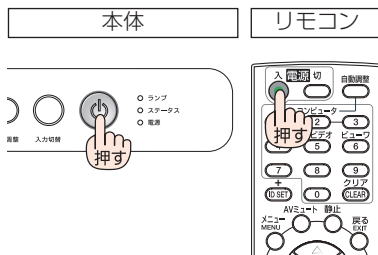
3-2. 本機の電源を入れる

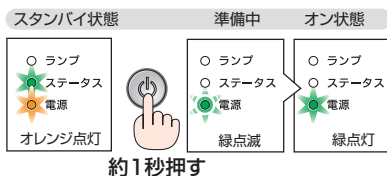
準備：「2. 設置と接続」（24 ページ）を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

- ひもを持ってレンズキャップを引っ張らないでください。故障の原因となります。

2 ⏻ボタンを約 1 秒押す。

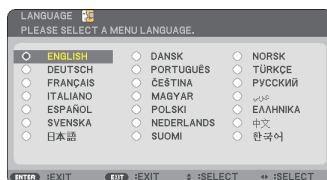
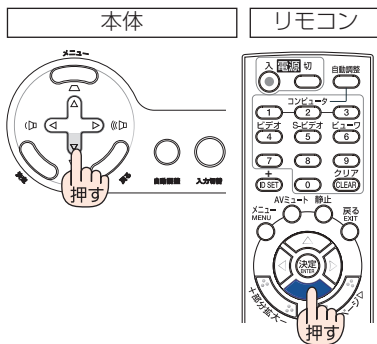
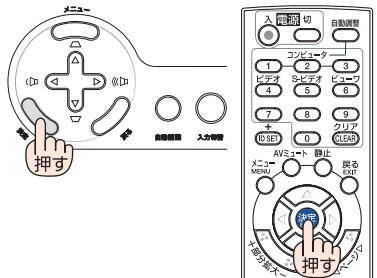
ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源（入）ボタンを約 1 秒押します。
- 信号が入力されていないときは、ロゴ画面（NEC ロゴ：工場出荷状態）が投写されます。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（41 ページ）

約1秒押す

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（53 ページ）
- エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。（79 ページ）
- ⏻ ボタンや（メニュー）ボタンなどを押すとビープ音を出します。ビープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（85 ページ）

- ご購入後はじめて電源を入れたときは LANGUAGE 画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。

LANGUAGE
PLEASE SELECT A MENU LANGUAGE.

ENGLISH	DANSK	NORSK
DEUTSCH	PORTUGUÊS	TÜRKÇE
FRANÇAIS	ČEŠTINA	РУССКИЙ
ITALIANO	MAGYAR	عربي
ESPAÑOL	POLSKI	ΕΛΛΗΝΙΚΑ
SVENSKA	NEDERLANDS	中文
日本語	SUOMI	한국어

ENTER :EXIT　EXIT :EXIT　⇕ :SELECT　⇔ :SELECT

❶ ▽△◁▷ ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。

❷ 決定 ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形します。
- 次のような場合は、⏻ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ランプの交換時間（目安）※がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
  - ⏻ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（➡ 81 ページ）
  - 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅（6 回周期の点滅）している場合は、1 分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源インジケータが点滅中（短い点滅）は電源を切ることができません。長い点滅はオフタイマーが設定されています。このときは電源を切ることができます。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3 ～ 5 分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが明るくなるまで時間がかかる場合があります。
- 電源を切った直後に電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、そのあとスクリーンに映像が投写されます。

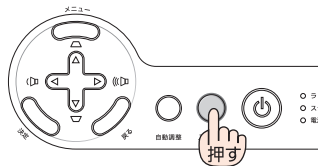
3-3. 入力信号を選択する

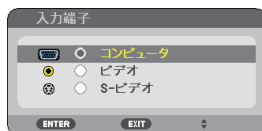
信号選択画面から選択する

1 本機に接続しているコンピュータやDVD プレーヤなどの電源を入れる。

DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

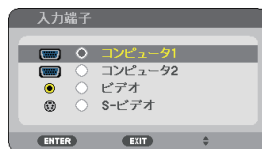
2 (入力切替) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

3 (入力切替) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(入力切替) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

※ NP216J 以外の画面

※ NP216J の画面

4 (決定) ボタンを押す。

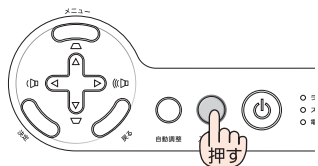
・(決定) ボタンを押さずに約 2 秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。

投写する入力信号を自動検出する

1 本機に接続しているコンピュータやDVD プレーヤなどの電源を入れる。

DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (入力切替) ボタンを 2 秒以上押す。

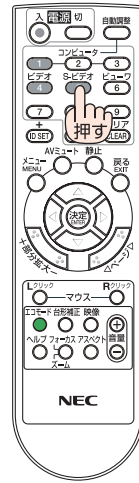
投写可能な信号を自動検出します。

・2 秒以上 (入力切替) ボタンを押すたびに、コンピュータ→ビデオ→ S- ビデオ（NP216J は、→コンピュータ 1 →コンピュータ 2 → ビデオ → S- ビデオ）と映像（入力信号）が切り替わります。入力信号がないときは次の信号に移ります。

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているコンピュータやDVD プレーヤなどの電源を入れる。

DVD プレーヤなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

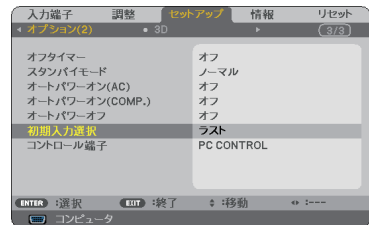
2 リモコンの（ビデオ）、（S-ビデオ）、（コンピュータ1）ボタンを押す。

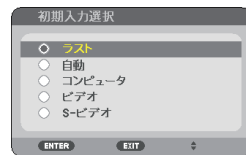
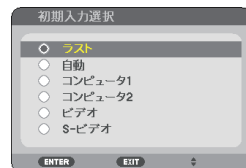
（NP216J のみ（コンピュータ2）ボタンを選択することができます。）

自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション（2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

・ オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。（➡64 ページ）

2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、（決定）ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。

※ NP216J 以外の画面

※ NP216J の画面

3 **(戻る)ボタンを 3 回押す。**

オンスクリーンメニューが消えます。

4 **本機の電源を入れなおす。**

手順 **2** で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータをコンピュータ接続ケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン(COMP.)）。（86 ページ）
- 入力信号がないときは、ロゴ画面（NEC ロゴ：工場出荷状態）が表示されます。DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - Windows の場合はファンクションキーを使います。
  Fn キーを押したまま（⎵/▭）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく(プロジェクターが認識する時間)すると投写されます。
  通常､キーを押すごとに｢外部出力｣→｢コンピュータ画面と外部の同時出力｣→｢コンピュータ画面」…と繰り返します。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

キー	メーカー
Fn ＋ F2	MSI
Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn ＋ F4	HP、Gateway
Fn ＋ F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn ＋ F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn ＋ F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn ＋ F10	FUJITSU

※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

  - Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
  - それでも投写しない場合は本体の（入力切替）ボタンを 2 秒以上押してください。（36 ページ）

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

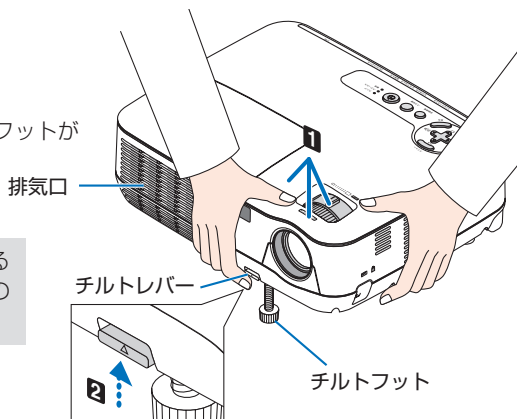
投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

1 **本機の前部を持ち上げる。**

2 **チルトレバーを押し上げる。**

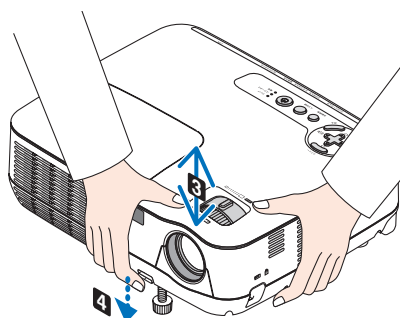
チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際はご注意ください。

3 **チルトレバーを押したまま、本機の投写角度を調整する。**

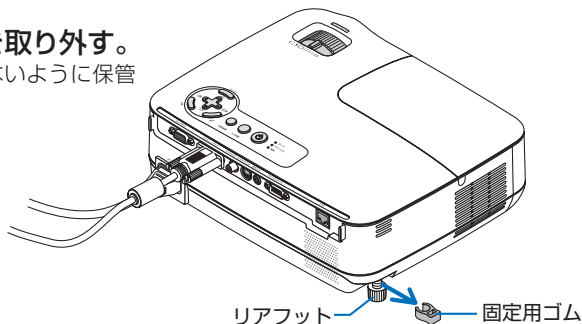
4 **角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。**

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

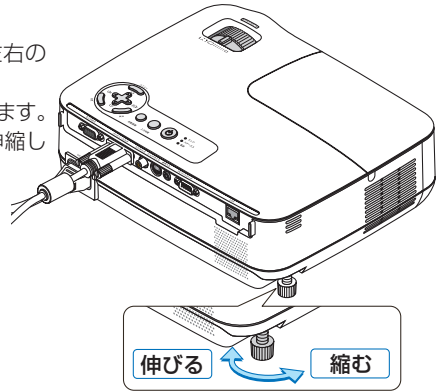
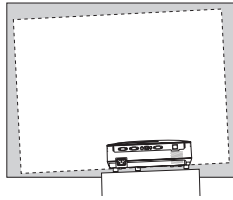
・ チルトフットは、最大 40mm 伸ばすことができます。
・ チルトフットにより、本機を最大 10° 傾けることができます。
・ チルトフットを指でまわすと高さの微調整ができます。

- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

1 **リアフットの固定用ゴムを取り外す。**

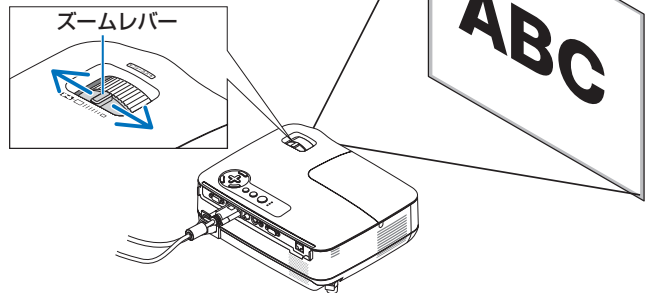
取り外した固定用ゴムはなくさないように保管してください。

2 リアフットを回す。

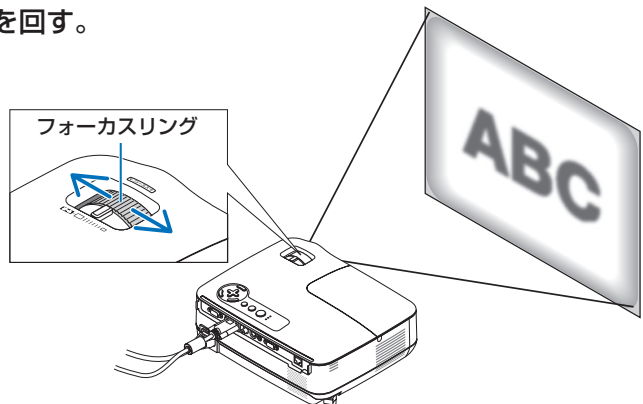
リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。

- リアフットは、最大 10mm 伸ばすことができます。
- 本機を正面から見て左側のリアフットしか伸縮しません。

注意

- リアフットは 10mm 以上伸ばさないでください。無理に伸ばそうとすると、リアフットの取り付け部分が不安定になり、リアフットが本体から外れます。
- プロジェクターの使用が終わったら、リアフットに固定用ゴムを取り付けてリアフットの長さをもとに戻してください。

投写画面の大きさの微調整（ズームレバー）

1 ズームレバーを左右に動かす。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

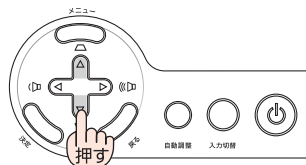
1 フォーカスリングを回す。

3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。ここでは、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては調整範囲が狭くなる場合があります。

本体の操作ボタンで調整する

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の（▽/△）ボタンを押す。

調整バーが表示されます。

2 （▽/△）ボタンを押して、台形歪みを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。

3 （決定）ボタンを押す。

調整バーが消え、台形補正が決定されます。

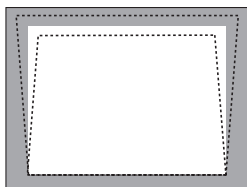
- 投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによる台形補正はできません。この場合は、（メニュー）ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます。なお、調整した値は、台形補正保存で保存しておくことができます。（➡78ページ）

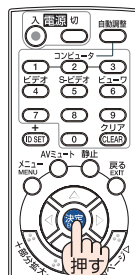
リモコンを使って調整する

1 **（台形補正）ボタンを押す。**

台形補正調整バーが表示されます。

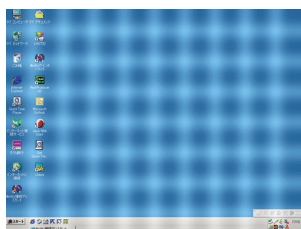
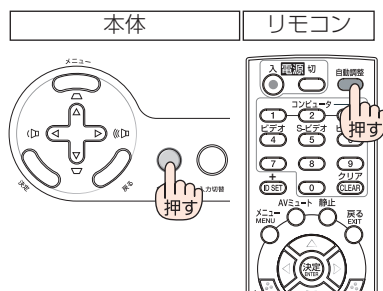
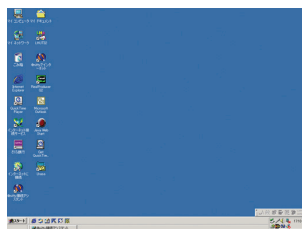
2 **（◁/▷）ボタンを押して、台形歪みを調整する。**

投写画面の左右が垂直になるように調整します。

3 **（決定）ボタンを押す。**

台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

3-6. 映像を自動調整する

コンピュータの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 (自動調整) ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

【映りが悪い画面の例】

【自動調整後の画面の例】

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(➲73, 74 ページ)
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号（解像度、水平・垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、100 ページを参照してください。

3-7. 本機の音量を調整する

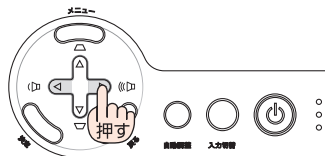
本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(◁/▷)ボタンを押す。

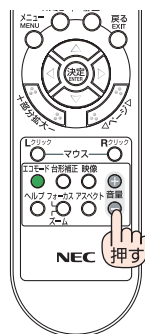
調整バーが表示されます。

((□側…音量が大きくなります。
(□側…音量が小さくなります。

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および(部分拡大＋)ボタンで画面を拡大しているときは、(◁/▷)ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1 リモコンの(音量＋/－)ボタンを押す。

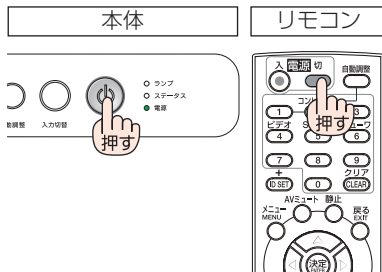
調整バーが表示されます。

＋側…音量が大きくなります。
－側…音量が小さくなります。

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）のビープ音を「オフ」にしてください。（85 ページ）

3-8. 本機の電源を切る

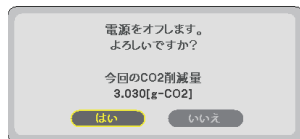
1 ⏻ ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO_2 削減量を表示します。(➡51 ページ)
- リモコンで操作する場合は、電源 (切) ボタンを押します。

2 (決定) ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- (決定) ボタンの代わりに、⏻ボタンまたは電源 (切) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、(◁/▷) ボタンで「いいえ」を選んで (決定) ボタンを押します。

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

3-9. あとかたづけ

1 電源コードを取り外す。

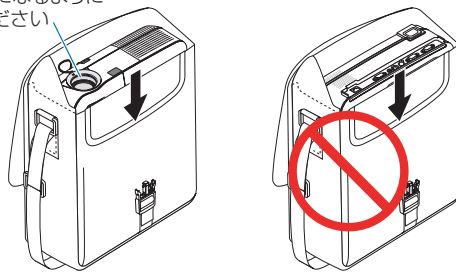
2 各種信号ケーブルを取り外す。

3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

・ リアフットの固定用ゴムを取り外している場合は、取り付けてください。

4 レンズにレンズキャップを取り付ける。

5 本機および添付品をソフトケースに収納する。

本機をソフトケースに収納するときは、下図のように投写レンズのある面が上を向くように収納してください。

● 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。故障の原因となります。

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

4. 便利な機能

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの（AVミュート）ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカの音声が一時的に消えます。

・もう一度（AVミュート）ボタンを押すと、映像と音声が出ます。

注意

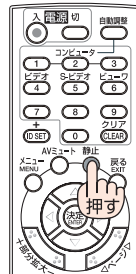
- ビープ音は（AVミュート）ボタンを押しても消えません。
  ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション（1）のビープ音を「オフ」にしてください。（85 ページ）

- 映像は消えますが、オンスクリーンメニュー表示は消えません。

4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの（静止）ボタンを押す。

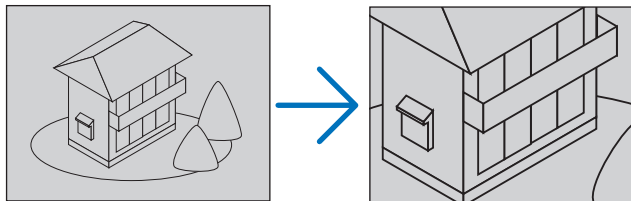
DVD プレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・ もう一度（静止）ボタンを押すと、動画に戻ります。

- （静止）ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. 映像を拡大する

1 リモコンの（部分拡大 ＋）ボタンを押す。

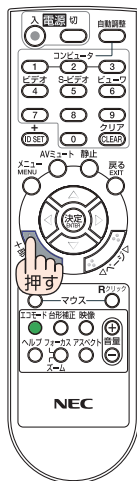
押すごとに映像が拡大します。

・最大 4 倍まで拡大できます。

2 （▽△◁▷）ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 （部分拡大 －）ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

● 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
また、アスペクトで「ワイドズーム」を設定しているときは、4 倍まで拡大できないことがあります。

● 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
● 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

4-4. エコモードと省エネ効果

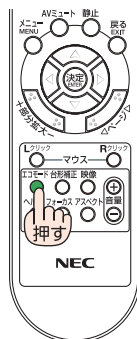
エコモードを設定すると、本機の CO_2 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)※を延ばすことにもなります。

エコモードの設定	ランプの輝度	ランプインジケータの状態
オフ	ランプの輝度(明るさ)が 100%になります。 明るい画面になります。	消灯 ○ ランプ ○ ステータス ● 電源
オン	ランプの輝度(明るさ)が約 90%になります。 ランプ交換時間(目安)※が延びます。 ランプの輝度(明るさ)が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。	緑色で点灯 ランプ ○ ステータス ● 電源

※保証時間ではありません。

エコモードに切り替える

1 リモコンの(エコモード)ボタンを押す。

エコモード選択画面が表示されます。

2 (▽/△)ボタンで「オン」を選択し、(決定)ボタンを押す。

エコモードに設定しエコモード選択画面を閉じます。

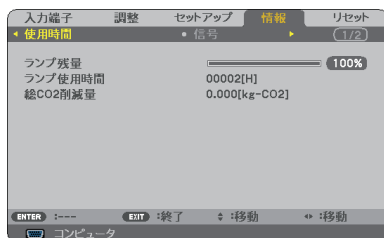
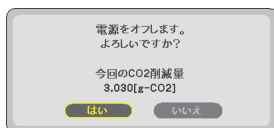
注意

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(79 ページ)
- ランプ残量/ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(88 ページ)
- 電源を入れた直後の約 1 分間は、常にエコモードは「オフ」になります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態(ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき)のまま約 45 秒経過すると、自動的にエコモードは「オン」に切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの状態に戻ります。

- エコモード「オフ」で使用時、室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードが「オン」に切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
  強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、オンスクリーンメニュー画面の右下に「 」アイコンが表示されます。
  室温を下げたり、ファンモード（84 ページ）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモード「オフ」に戻ります。
  強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

省エネ効果を見る（カーボンメータ）

本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO_2 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総 CO2 削減量」と「今回の CO2 削減量」があります。
「総 CO2 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO_2 削減量（kg）を累積し、オンスクリーンメニューの情報→使用時間に表示します。（88 ページ）

「今回の CO2 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO_2 削減量（g）を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。

- CO_2 排出削減量はエコモードが「オフ」設定時の消費電力量と「オン」設定時の消費電力量の差に CO_2 排出係数を掛けて算出※します。
  ※ CO_2 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO2 Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO2 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

● セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

1 **(メニュー)ボタンを押す。**

オンスクリーンメニュー画面が表示されます。

2 **(▷)ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。**

「全般」にカーソルが移動します。

3 **(▷)ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。**

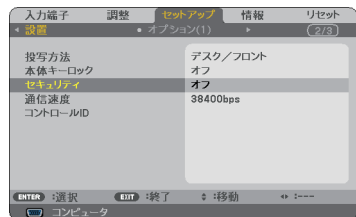
4 **(▽)ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。**

セキュリティ設定画面に変わります。

5 **(▽)ボタンで「オン」を選択し、(決定)ボタンを押す。**

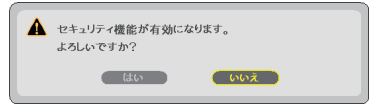
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6 **(▽△◁▷)ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、(決定)ボタンを押す。**

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。
セキュリティキーワードは 4 個以上 10 個以下の組み合わせで設定してください。

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。

7 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、(決定)ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

8 (◁)ボタンで「はい」を選択し、(決定)ボタンを押す。

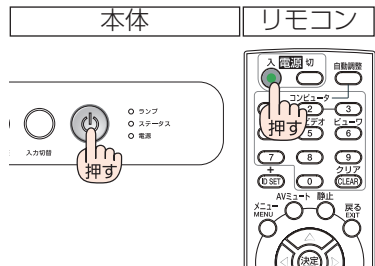
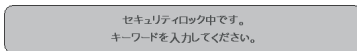
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 (⏻)ボタンを約1秒押す。

- リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを約1秒押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。

セキュリティロック中です。
キーワードを入力してください。

2 (メニュー)ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

3 セキュリティキーワードを入力し、(決定)ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

4
便利な機能

セキュリティを無効にする

1 **（メニュー）ボタンを押す。**

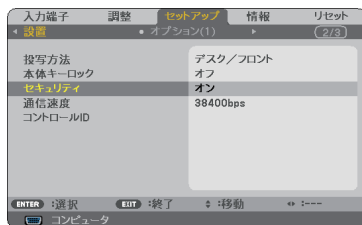
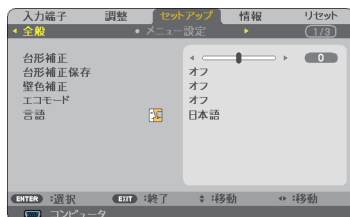
メニュー画面が表示されます。

2 **（▷）ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押す。**

「全般」にカーソルが移動します。

3 **（▷）ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。**

4 **（▽）ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、（決定）ボタンを押す。**

セキュリティ設定画面に変わります。

5 **（△）ボタンで「オフ」を選択し、（決定）ボタンを押す。**

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。

6 **セキュリティキーワードを入力し、（決定）ボタンを押す。**

入力したセキュリティキーワードは「＊」で表示されます。

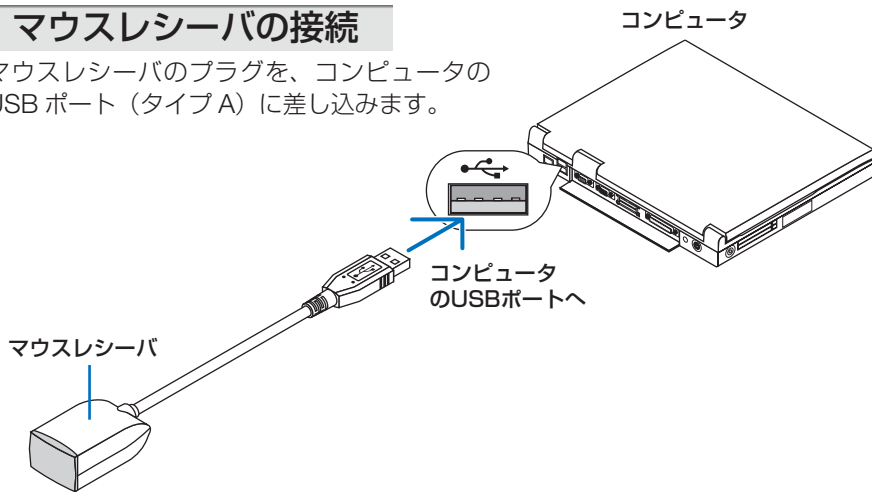
セキュリティが無効になります。

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ➡ 裏表紙）にご連絡ください。

4-6. 別売のマウスレシーバを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う

別売のマウスレシーバ（形名 NP01MR）をコンピュータに接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、コンピュータのUSB ポート（タイプ A）に差し込みます。

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。
  Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000
  Mac OS X10.0.0 以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの(ページ ◁/▷)ボタンは働きません。
- コンピュータの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

・(ページ ◁/▷)ボタン .... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
・(▽△◁▷)ボタン .... マウスポインタを移動します。
・(マウス L クリック)ボタン............. マウスの左クリックの働きをします。
・(マウス R クリック)ボタン............. マウスの右クリックの働きをします。

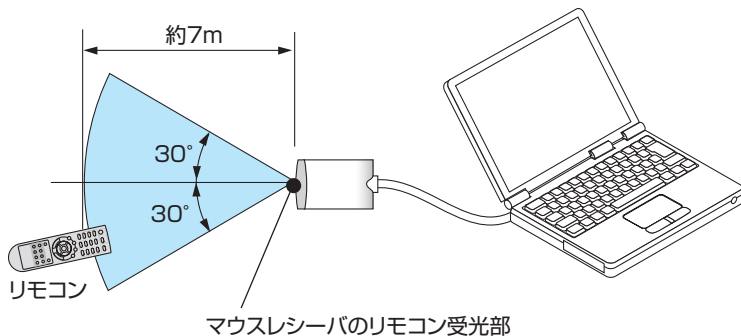
● 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに(▽△◁▷)ボタンでコンピュータのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
● Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの(ページ ◁/▷)ボタンは働きません。

● マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

● 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。

❶ マウスポインタでアイコンを選択する。
❷ (マウス L クリック)(または(マウス R クリック))ボタンを 2 ～ 3 秒以上押し続けて離す。ドラッグモードになります。
❸ (▽△◁▷)ボタンを押す。選択したアイコンが移動します。
❹ (マウス L クリック)(または(マウス R クリック))ボタンを押す。アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
・ドラッグモードを解除するには、(マウス R クリック)(または(マウス L クリック))ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。

4-7. HTTP を使用したブラウザによるネットワークの設定（適応機種 NP216J/NP215J）

概要

本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知（➡60 ページ）を行ったり、コンピュータからネットワークを経由して本機を制御することができます（制御するには、別途コントロールソフトをコンピュータにインストールする必要があります）。
本機への IP アドレスやサブネットマスクなどの設定は、HTTP サーバ機能を使用し Web ブラウザでネットワーク設定画面を表示して行います。なお、Web ブラウザは「Microsoft Internet Explorer 6.0」以上を必ず使用してください。
本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピュータで Web ブラウザを起動し、以下の URL を入力することで行えます。
・ネットワーク設定
　http://〈本機の IP アドレス〉/index.html
・メール通知設定
　http://〈本機の IP アドレス〉/lanconfig.html

- 工場出荷時あるいはリセット後の IP アドレスは、「192.168.0.10」です。
- コントロールソフトは、当社のホームページからダウンロードしてください。

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
  また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- Web ブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押して Web ブラウザの画面表示を更新してください。

使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。（➡31 ページ）
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

（例1）本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html　と指定します。

（例2）本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html　と指定します。

ネットワーク設定

http://〈本機のIPアドレス〉/index.html

PROJECTOR NETWORK SETTINGS

ITEM	CURRENT VALUE	NEW VALUE
PHYSICAL ADDRESS		
MAC ADDRESS	[illegible]	CANNOT BE MODIFIED
IP NETWORK		
DHCP	DISABLE	○ENABLE ◉DISABLE
IP ADDRESS	192.168.0.10	192 . 168 . 0 . 10
SUBNET MASK	255.255.255.0	255 . 255 . 255 . 0
DEFAULT GATEWAY	192.168.0.1	192 . 168 . 0 . 1
DNS(PRIMARY)	0.0.0.0	0 . 0 . 0 . 0
DNS(SECONDARY)	0.0.0.0	0 . 0 . 0 . 0

FIRMWARE VERSION : 1.00 / MODEL : NP215_Series

UPDATE

DHCP	本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は、「ENABLE」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「DISABLE」を選択し、下の「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、および「DEFAULT GATEWAY」を設定してください。 [参考] ● DHCPを「ENABLE」にして割り当てられたIPアドレスは、オンスクリーンメニューの情報→有線LANの画面で確認できます。
IP ADDRESS	DHCPが「DISABLE」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。 [参考] ● 設定したIPアドレスは、オンスクリーンメニューの情報→有線LANの画面で確認できます。
SUBNET MASK	DHCPが「DISABLE」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
DEFAULT GATEWAY	DHCPが「DISABLE」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

DNS（PRIMARY）	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS（SECONDARY）	本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバの IP アドレスを設定します。
UPDATE	設定を反映させます。 ［注意］ ● UPDATE ボタンを押したあとは、プロジェクターで設定が自動的に反映されますので、ブラウザを一度閉じてください。

● オンスクリーンメニューのリセットで「ネットワーク設定」を選択した場合、以下の項目が工場出荷時状態に戻ります。

DHCP：DISABLE
IP ADDRESS：192.168.0.10
SUBNET MASK：255.255.255.0
DEFAULT GATEWAY：192.168.0.1

DNS（PRIMARY）と DNS（SECONDARY）は変更されません。

メール通知

http://〈本機の IP アドレス〉/lanconfig.html

PROJECTOR NETWORK SETTINGS

ITEM	VALUE
DOMAIN	
HOST NAME	
DOMAIN NAME	
MAIL	
ALERT MAIL	○ ENABLE ◉ DISABLE
SENDER'S ADDRESS	
SMTP SERVER NAME	
RECIPIENT'S ADDRESS 1	
RECIPIENT'S ADDRESS 2	
RECIPIENT'S ADDRESS 3	

APPLY

TEST MAIL	
	STATUS
EXECUTE	

本機をネットワークに接続して使用しているとき、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。

HOST NAME	本機のホスト名を設定します。 不明な場合は、本機を表す任意の文字列を入力してください。 【例】Projector	英数字 最大 60 文字
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。 不明な場合は、「SENDER'S ADDRESS」の @(アットマーク)の右側の文字列を入力してください。 【例】nec.co.jp	英数字 最大 60 文字
ALERT MAIL	ENABLE…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 DISABLE…メール通知機能が停止します。	—
SENDER'S ADDRESS	差出人アドレスを設定します。 E メールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTP SERVER NAME	本機を接続する LAN の SMTP サーバを設定します。	英数字 最大 60 文字
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 E メールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
APPLY	設定を適用します。	—
EXECUTE	メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。	—
STATUS	テストメールの結果が表示されます。	—

注意

- 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

- メール通知の設定内容は、オンスクリーンメニューのリセットを行っても変更されません。

4-8. 3D 映像を投写する（適応機種 NP216J）

本機は、市販の DLP® Link 方式の液晶シャッタ眼鏡を使って、3D 映像を視聴することができます。

⚠注意

●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッタ眼鏡に添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッタ眼鏡を使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。

液晶シャッタ眼鏡

別売の 3D 対応プロジェクター用メガネ（形名：NP01GL）をお買い求めください。または、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッタ眼鏡をお買い求めください。

本機で 3D 映像を視聴する手順

1 本機と映像機器を接続する。

2 本機の電源を入れ、オンスクリーンメニューを表示して、3D モードを「オン」にする。

① (メニュー) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

② (▷) ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
「全般」にカーソルが移動します。

③ ▷ ボタンを押して「3D」にカーソルを合わせる。
3D 画面が表示されます。

④ ▽ ボタンを押して 3D 映像を投写する信号にカーソルを合わせ、決定 ボタンを押す。
3D モード設定画面が表示されます。

⑤ ▽ ボタンで「オン」を選択し、決定 ボタンを押す。
選択した信号が 3D モードに変わります。
必要に応じて、その他のメニュー項目（DLP® Link、L/R 反転）を設定してください。（87 ページ）

⑥ メニュー ボタンを 1 回押す。
オンスクリーンメニューが消えます。

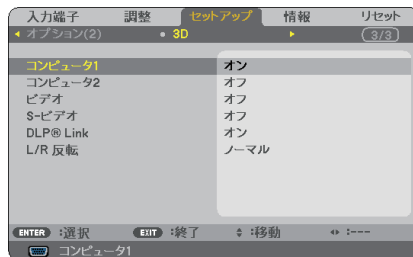
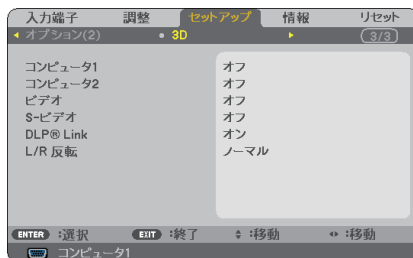
入力端子　調整　セットアップ　情報　リセット
オプション(2)　• 3D　3/3

コンピュータ1	オフ
コンピュータ2	オフ
ビデオ	オフ
S-ビデオ	オフ
DLP® Link	オン
L/R 反転	ノーマル

ENTER :選択　EXIT :終了　:移動　:移動
コンピュータ1

入力端子　調整　セットアップ　情報　リセット
オプション(2)　• 3D　3/3

コンピュータ1	オン
コンピュータ2	オフ
ビデオ	オフ
S-ビデオ	オフ
DLP® Link	オン
L/R 反転	ノーマル

ENTER :選択　EXIT :終了　:移動　:---
コンピュータ1

3 3D 映像のソフトを再生して、本機で投写する。

4 液晶シャッタ眼鏡を装着して映像を視聴する。

3D 映像を視聴し終えたら、3D モードを「オフ」に切り替えてください。

注意

- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- DLP® Link 方式の液晶シャッタ眼鏡は、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、液晶シャッタ眼鏡で同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなることがあります。
- 3D モードのときは、台形補正の調整範囲が狭くなります。
- 3D モードのときは、次の設定は無効になります。
  壁色補正、映像メニューのプリセット、参照、色温度
- 次の信号以外と判別した場合は OUT OF RANGE または 2D で表示されます。
  [コンピュータ]
  640×480@120Hz、800×600@120Hz、1024×768@120Hz、1280×720@120Hz、640 ×480@60Hz、800×600@60Hz、1024×768@60Hz、1280×720@60Hz
  [ビデオ /S- ビデオ]
  垂直周波数が 60Hz の信号

- 3D モードが有効なときはオンスクリーンメニューの入力端子画面（70 ページ）に「3D」と表示されます。
- 入力している信号が 3D かどうかは、オンスクリーンメニューの情報の「信号」画面で確認できます。

3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。
また、液晶シャッタ眼鏡に添付している取扱説明書をご覧ください。

考えられる原因	解決策
選択している信号が 3D に対応していない。	3D 対応の映像信号を入力してください。
選択している信号に対して 3D モードが「オフ」になっている。	オンスクリーンメニューで3Dモードを「オン」にしてください。
本機に対応した眼鏡を使用していない。	別売の 3D 対応プロジェクター用メガネ（形名:NP01GL）をお買い求めください。または、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッタ眼鏡をお買い求めください。
本機に対応した液晶シャッタ眼鏡を使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
液晶シャッタ眼鏡の電源をオフにしている。	液晶シャッタ眼鏡の電源をオンにしてください。
液晶シャッタ眼鏡に内蔵している電池が消耗している。	充電するか、電池を交換してください。
DLP® Link 方式の液晶シャッタ眼鏡を使用しているとき、オンスクリーンメニューの DLP® Link を「オフ」にしている。	オンスクリーンメニューで DLP® Link を「オン」にしてください。
視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。	3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。
	オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。または、スクリーンの近くに明るい光源がある。	プロジェクター同士を十分離してください。
	スクリーンを光源から離してください。
	オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。	お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。
コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。
コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。

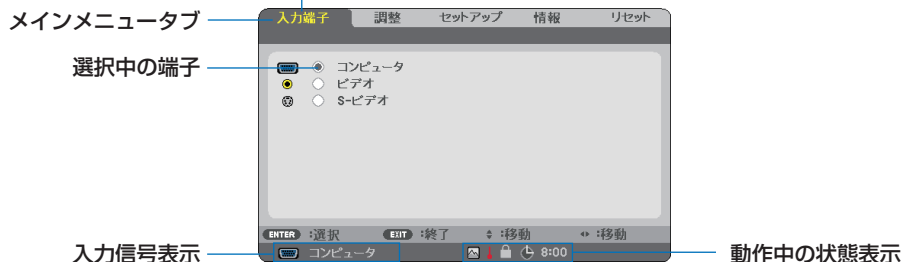
5. オンスクリーンメニュー

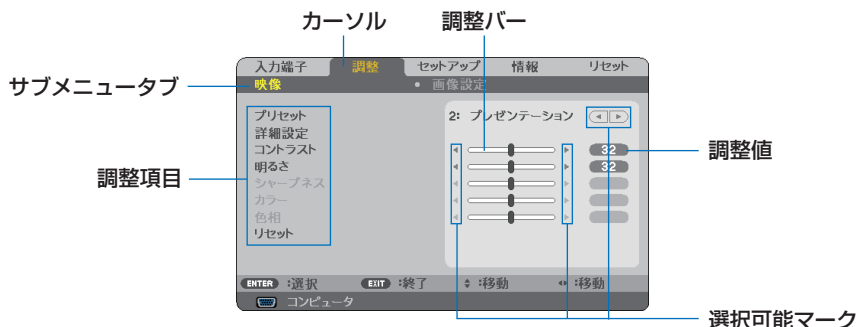
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。
ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (メニュー)ボタンを押す。
ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、8:00 オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▷)ボタンを1回押す。
カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。

3 (▽/△)ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◁/▷)ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

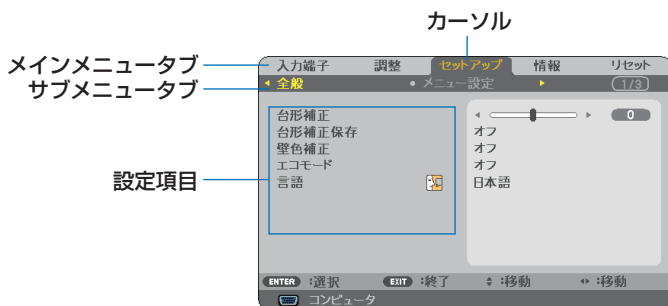
- 「◀ ▶(選択可能マーク)」が付いている項目は(◁/▷)ボタンで設定を切り替えることができます。

  「◀ ▶(選択可能マーク)」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定)ボタンを押します。
- 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (戻る)ボタンを2回押す。

カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▷)ボタンを1回押す。

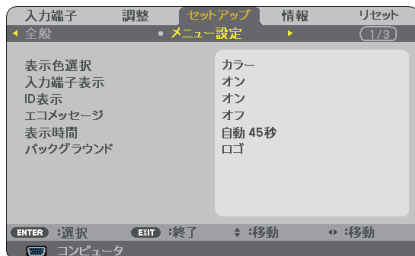
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。

7 (決定)ボタンを押す。

全般にカーソルが移動します。

- セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)という5つのサブメニュータブがあります。(◁/▷)ボタンで選択します。

  (NP216Jのみ、3Dのサブメニューを表示します。)

8 (▷)ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。

メニュー設定のメニューに切り替わります。

9 (▽)ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

・ バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。

10 (▽/△)ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

・ 選択を取り消す場合は、(戻る)ボタンを押します。

12 (メニュー)ボタンを 1 回押す。

メニューが消えます。

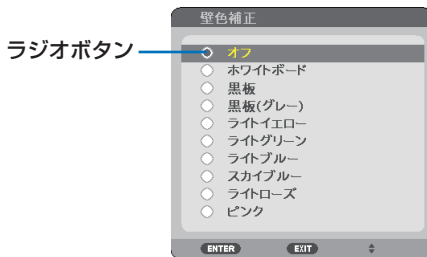
● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから 1 つ「◉」を選びます。

【例 1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正

1 (▽/△)ボタンを押す。

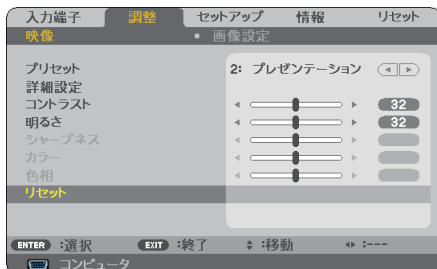
選択されているマーク(◉)が移動します。

2 選択する項目に「◉」を移動したら、(決定)ボタンを押す。

●実行ボタン

機能を実行します。
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (戻る) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例 2】調整のリセット

1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。

2 (決定) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。

3 実行する場合は、(◁/▷) ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
機能が実行されます。
・ 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、(決定) ボタンを押します。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

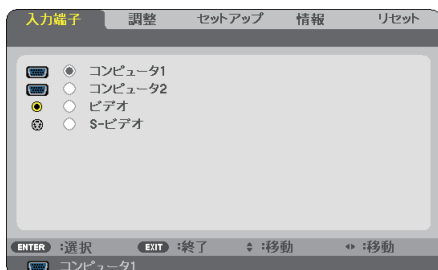
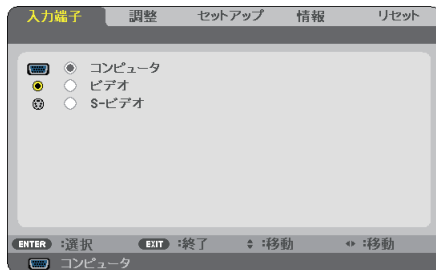
　　　　は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
入力端子	―			コンピュータ 1（※ 1）	70
				コンピュータ 2（※ 1）	
				コンピュータ（※ 2）	
				ビデオ	
				S- ビデオ	
調整	映像	プリセット		1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB	71
		詳細設定	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB	72
			ガンマ補正	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
			色温度	5000、6500、7800、8500、9300、10500	
			BrilliantColor	オフ、中、強	
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
		コントラスト			73
		明るさ			
		シャープネス			
		カラー			
		色相			
		リセット			
	画像設定	クロック周波数			
		位相			74
		水平			
		垂直			
		アスペクト		自動、4:3、16:9、15:9、16:10、ワイドズーム、リアル	75
		表示位置			76
		ノイズリダクション		オフ、弱、中、強	
		テレシネモード		オフ、2-2/2-3 自動、2-2 オン、2-3 オン	77
セットアップ	全般	台形補正			78
		台形補正保存		オフ、オン	
		壁色補正		オフ、ホワイトボード、黒板、黒板(グレー)、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	
		エコモード		オフ、オン	
		言語		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、中文、한국어	79

※ 1: NP216J で表示されます。
※ 2: NP216J 以外で表示されます。

メニュー				選択項目	参照ページ
メインメニュー	サブメニュー				
	メニュー設定	表示色選択		カラー、モノクロ	79
		入力端子表示		オフ、オン	
		ID 表示		オフ、オン	
		エコメッセージ		オフ、オン	
		表示時間		手動、自動 5 秒、自動 15 秒、自動 45 秒	80
		バックグラウンド		ブルーバック、ブラックバック、ロゴ	
	設置	投写方法		デスク／フロント、天吊り／リア、デスク／リア、天吊り／フロント	
		本体キーロック		オフ、オン	81
		セキュリティ		オフ、オン	82
		通信速度		4800bps、9600bps、19200bps、38400bps	
		コントロール ID	コントロール ID 番号	1 - 254	
			コントロール ID	オフ、オン	
	オプション (1)	ファンモード		自動、高速、高地	84
		カラー方式	ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
			S- ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
		WXGA モード		オフ、オン	
		ビープ音		オフ、オン	85
	オプション (2)	オフタイマー		オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	
		スタンバイモード		ノーマル、省電力	
		オートパワーオン（AC）		オフ、オン	86
		オートパワーオン（COMP.）		オフ、オン	
		オートパワーオン（COMP.1）(※1)		オフ、オン	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:20、0:30	
		初期入力選択		ラスト、自動、コンピュータ、ビデオ、S- ビデオ	
		コントロール端子 (※3)		PC CONTROL、LAN	87
	3D (※1)	コンピュータ 1		オフ、オン	
		コンピュータ 2		オフ、オン	
		ビデオ		オフ、オン	
		S- ビデオ		オフ、オン	
		DLP® Link		オフ、オン	
		L/R 反転		ノーマル、反転	
情報	使用時間			ランプ残量、ランプ使用時間、総 CO2 削減量	88
	信号			信号名、水平同期周波数、垂直同期周波数、信号形式、ビデオ標準、同期形態、同期極性、走査方式、3D 信号 (※1)	
	有線 LAN (※3)			プロジェクター名、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス	
	VERSION			PRODUCT、SERIAL NUMBER、FIRMWARE、DATA、CONTROL ID (※4)	
リセット	—			表示中の信号、全データ、ネットワーク設定 (※3)、ランプ時間クリア	90

※3: NP210J/NP115J/NP110J は表示されません。
※4: CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子

※ NP216J の画面

※ NP216J 以外の画面

入力端子を選択する

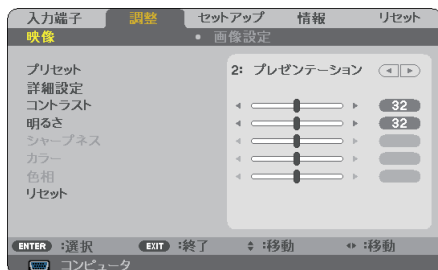
投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「●」(ドット) を表示します。

コンピュータ 1(※ 1)	コンピュータ 1 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 2(※ 1)	コンピュータ 2 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ (※ 2)	コンピュータ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
S －ビデオ	S- ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。

※ 1：NP216J のみ
※ 2：NP216J 以外

- コンピュータ映像入力端子に接続しているコンポーネント入力信号は、「コンピュータ」（NP216J はコンピュータ 1 またはコンピュータ 2）を選択してください。
  コンピュータ映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

5-4. 調整

映像

●プリセット

映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目 1 ～ 6 に、あらかじめ次の設定がされています。
また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目 1 ～ 6 に登録できます。

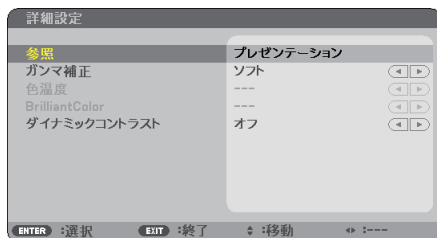
1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。

● 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定･統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。

5

オンスクリーンメニュー

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。
調整値を登録するには、プリセット項目１～６のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押します。
ガンマ補正、色温度、BrilliantColor、ダイナミックコントラストの項目について、細かな設定ができます。

参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度

色（R, G, B）のバランスを調整して色再現性を最良にします。
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

BrilliantColor

白の明るさを選択します。
「中」→「強」を選ぶと白色が明るくなります。

- 参照で「高輝度モード」を選択すると、色温度と BrilliantColor は変更できません。
- 参照で「プレゼンテーション」を選択すると、色温度は変更できません。
  BrilliantColor は「中」と「強」の切り替えができます。
- 壁色補正を「オフ」以外に設定していると、色温度は変更できません。

ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

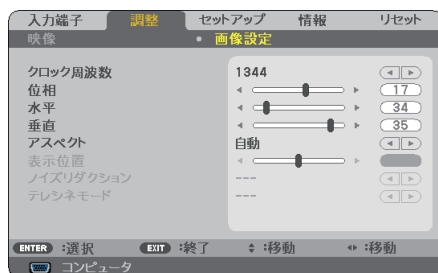
● 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

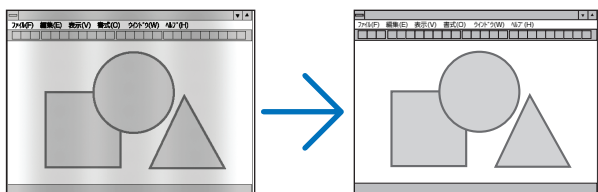
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

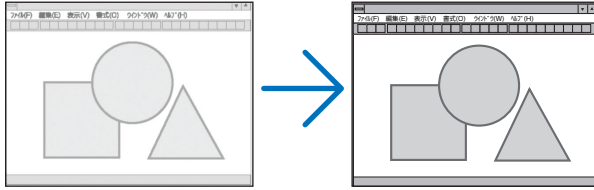
（○：調整可、×：調整不可）

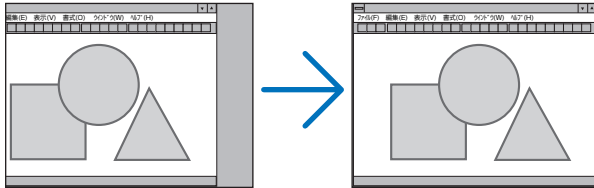
●リセット

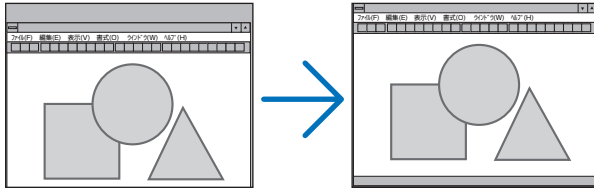
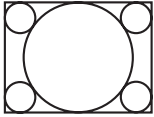
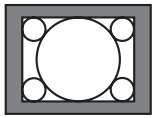
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

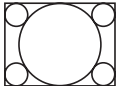
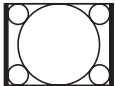
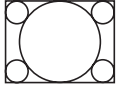
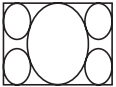
画像設定

●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。

●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。

●表示位置（水平）

画面を水平方向に移動します。

●表示位置（垂直）

画面を垂直方向に移動します。

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号（解像度、水平･垂直走査周波数）を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
  本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。
本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。
・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4：3
SVGA	800 × 600	4：3
XGA	1024 × 768	4：3
WXGA	1280 × 768	15：9
WXGA	1280 × 800	16：10
WXGA+	1440 × 900	16：10
SXGA	1280 × 1024	5：4
SXGA+	1400 × 1050	4：3
UXGA	1600 × 1200	4：3

選択項目	説　明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。（次ページ） 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4：3	4：3 のサイズで投写します。
16：9	16：9 のサイズで投写します。
15：9	15：9 のサイズで投写します。
16：10	16：10 のサイズで投写します。
ワイドズーム	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。 【例 1】NP115J/NP110J に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき 【例 2】NP216J/NP215J/NP210J に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき 注意 ● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● 本機の表示画素数より上の解像度（SXGA など）の信号を表示した場合は、「リアル」を選択しても本機の表示解像度で表示されます。

【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

コンピュータ信号のとき

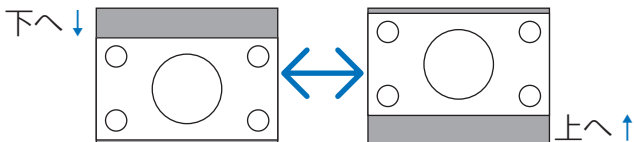
入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ			（注）スクイーズを適切に投写するには「16:9」または「ワイドズーム」を選択してください。

- アスペクトを「16:9」、「15:9」、または「16:10」に設定しているときは、表示位置で垂直位置を調整できます。（➡ このページ）
- ビデオ映像の標準アスペクト比 4：3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85：1 やシネマスコープ 2.35：1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16：9 の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して 4：3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

●表示位置

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。

●ノイズリダクション

ビデオ信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減します。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定しています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

●テレシネモード

映画などを投写して画面のちらつきが気になる場合、本機のＩ－Ｐ変換処理モードのテレシネ信号を最適なモードに設定します。

オフ	プルダウン処理を強制的に無効にします。
2-2/2-3 自動	テレシネ信号か、そうでないかを判別し、自動的に最適なモードに切り替えます。
2-2 オン	2-2 プルダウン処理モードに設定します。
2-3 オン	2-3 プルダウン処理モードに設定します。

5-5. セットアップ

全般

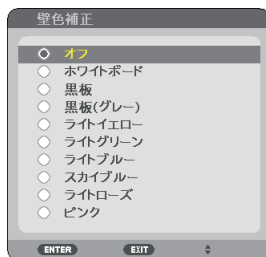
●台形補正

台形補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。
操作について詳しくは、「3-5. 台形歪みを調整する」(42 ページ) をご覧ください。

●台形補正保存

台形補正で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

オフ	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
オン	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。

●壁色補正

映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

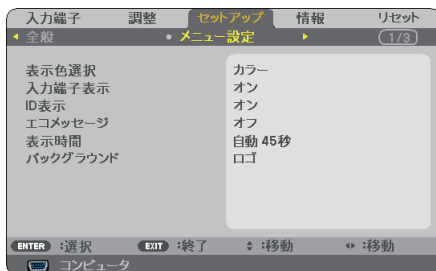
●エコモード

エコモードを設定すると、本機の CO_2 排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)※を延ばすことにもなります。(50, 88 ページ)
※保証時間ではありません。

●言語

メニューに表示される言語を選択します。

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定

●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。
「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。
- 信号が入力されていないとき、画面右上に「無信号」と表示されます。

● ID 表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET)ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID （82 ページ）をご覧ください。

●エコメッセージ

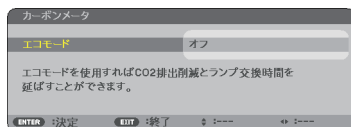
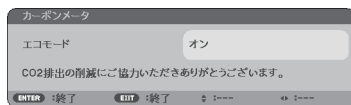
本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。
エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合は「オン」に設定するようにうながします。

エコモードが「オン」時のエコメッセージ

表示を消すには、(決定)ボタンまたは(戻る)ボタンを押します。30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。

エコモードが「オフ」時のエコメッセージ

(決定)ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。（50 ページ）
表示を消すには(戻る)ボタンを押します。

- 30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。

●表示時間

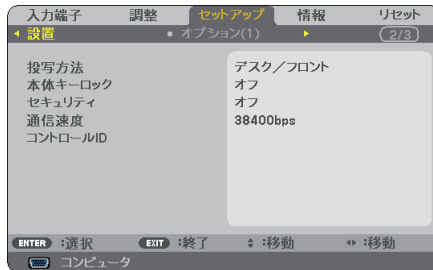
メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景が NEC ロゴ

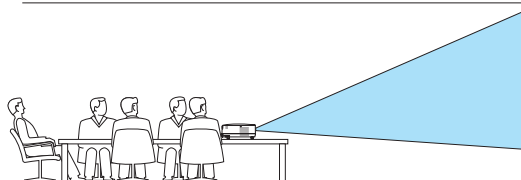
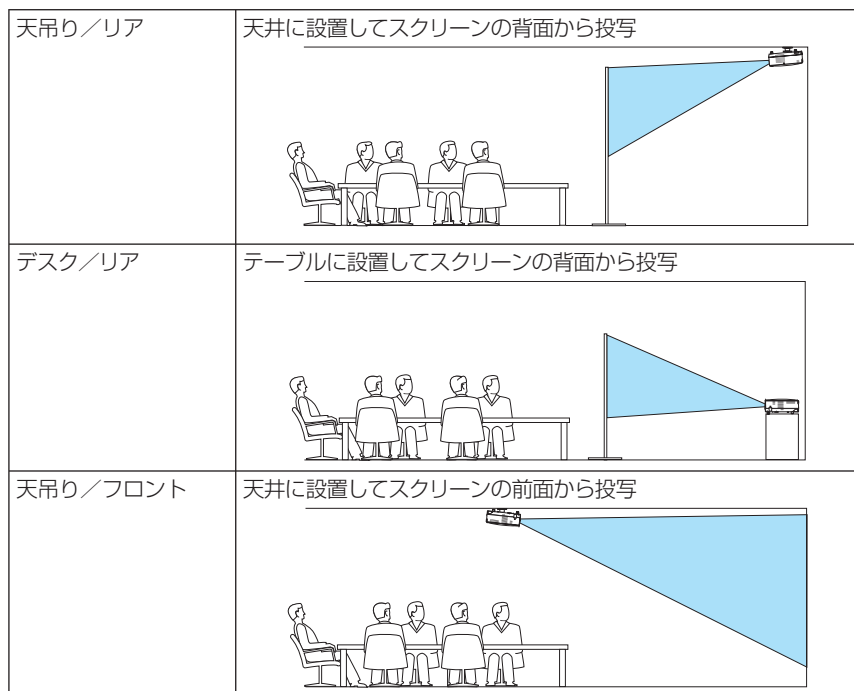
- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。
- ロゴをお好みの絵柄に変更することができます。詳しくは、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

設置

●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。 落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写

天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

● 本体キーロックの解除方法
本体の操作ボタンが「オン」に設定されているときに、本体の（戻る）ボタンを約10秒間押すと、本体キーロックの設定が解除されます。

● 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「🔒」アイコンが表示されます。
● 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。
セキュリティ設定のしかたは「4-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(➡ 52 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

● セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

● 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコン（本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコン）を使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

● コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

● コントロール IDは、リセットを行っても変更されません。
● 本体の（決定）ボタンを 10秒間押し続けると、コントロール IDを解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1 プロジェクターの電源を入れる。

2 リモコンの(ID SET)ボタンを押す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順**3**でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

3 リモコンの(ID SET)ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。

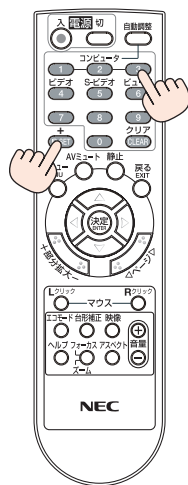
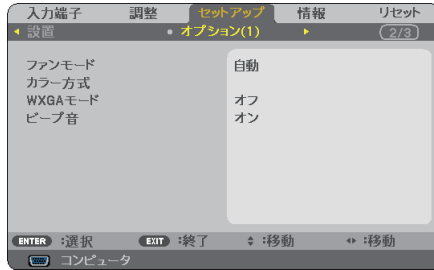
ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または(CLEAR(クリア))ボタンを押します。

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

4 (ID SET)ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

オプション（1）

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。
  さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるビデオ／ S- ビデオ信号方式を選択します。
工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

- ビデオ映像入力端子および S- ビデオ映像入力端子の入力信号の設定ができます。

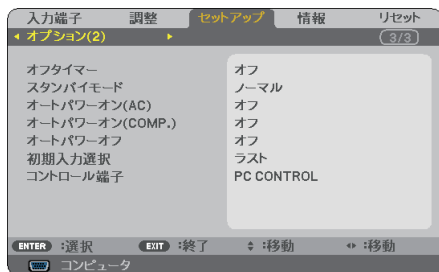
● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、WXGA（1280 × 768 ドット）信号を優先します。
WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA（1024 × 768 ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

●ビープ音

電源の入／切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

- ビープ音の音量は調整できません。また、(AVミュート) ボタンを押しても消えません。
  ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

オプション（2）

※この画面は NP215J のものです。
「コントロール端子」は、NP216J と NP215J で表示されます。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。
オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの緑色が長い点滅になります。

●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、ステータスインジケータが緑色で点灯します。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。 PC コントロール端子、モニタ出力端子、LAN 機能※、メール通知機能、オートパワーオン（COMP.）、本体の ⏻ ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 (入) 以外の操作ボタン

※ NP210J/NP115J/NP110J に LAN 機能はありません。

- 本体キーロック、コントロール ID、オートパワーオン（COMP.）のいずれかが「オン」に設定されていると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。

- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO_2 削減量の計算から除外しています。

●オートパワーオン（AC）

本機の電源プラグにAC電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択（このページ）で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン（COMP.）※

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。
本機のコンピュータ映像入力端子とコンピュータをコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン（COMP.）※機能は働きません。
オン	コンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。

※ NP216Jはオートパワーオン（COMP.1）と表示します。

- コンピュータ映像入力端子（NP216Jはコンピュータ1映像入力端子）にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン（Sync on Green）またはコンポジットシンク（Composite Sync）のコンピュータ信号の場合は働きません。
- オートパワーオン（COMP.）を「オン」に設定すると、スタンバイモードを「省電力」に設定していても無効になります。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン（COMP.）を働かせたい場合は、電源を切ったあと3秒以上待ってから、コンピュータ信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05／0:10／0:20／0:30	設定した時間（5分／10分／20分／30分）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ1※1	コンピュータ1映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ2※1	コンピュータ2映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ※2	コンピュータ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。

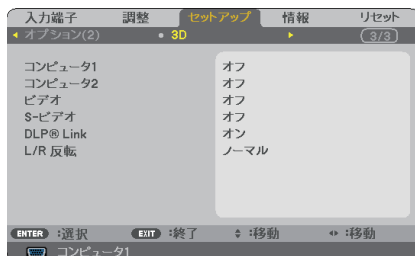
※ 1: NP216Jで表示されます。
※ 2: NP216J以外で表示されます。

●コントロール端子（適応機種 NP216J/NP215J）

本機を外部機器から制御する機能を行う端子を選択します。
HTTP サーバ機能やメール通知機能を使用する場合は、「LAN」を選択してください。

PC CONTROL	PC コントロール端子に接続した外部機器から本機を制御します。
LAN	LAN ポートに接続した外部機器から本機を制御します。

- スタンバイモードを「省電力」に設定しているときは、本機のスタンバイ状態のときに外部機器からの制御ができなくなります。

3D（適応機種 NP216J）

●コンピュータ 1/ コンピュータ 2/ ビデオ /S- ビデオ

各入力端子に対して 3D モードのオン / オフを切り替えます。

● DLP® Link

DLP® Link 方式の液晶シャッタ眼鏡をご使用の場合は、オンに切り替えてください。それ以外の IR 方式やワイヤード方式の液晶シャッタ眼鏡をご使用の場合は、オフにしてください。DLP® Link 方式以外の液晶シャッタ眼鏡をご使用の場合、眼鏡によっては同期が取れなくなることがあります。

● L/R 反転

3D 映像が観づらい場合に設定を変更します。
左目用の画像と右目用の画像の表示順を変更します。

- L/R 反転は、3D 信号入力中、DLP® Link を「オン」にしているときのみ操作できます。
  L/R 反転が操作できないときは、リモコンの（映像）ボタンを押しても「L/R 反転」画面は表示されません。

5-6. 情報

※NP216J と NP215J は「有線 LAN」のページが表示されます。

ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の形名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- 使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。（51 ページ）
- 信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」（106 ページ）もあわせてご覧ください。

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について
  本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」での使用と「オン」で使用した場合はランプの交換時間（目安）※が異なります。
  ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
  - 0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「6-3. ランプの交換」（93 ページ）をご覧ください。
  - ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の ⏻ ボタンまたはリモコンの電源 (切) ボタンを押したときに表示されます。
    電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
  - ランプ交換時間（目安）※に到達（ランプ残量 0%）後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき､ランプ残量表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。

  ※保証時間ではありません。

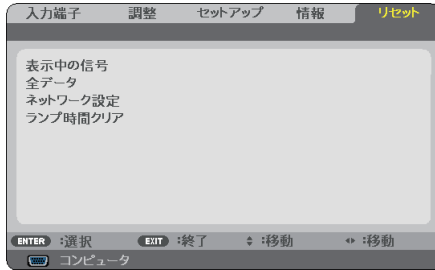
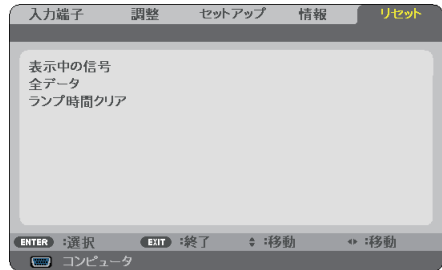
・ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	エコモード「オフ」でのみ使用（最小）	エコモード「オン」でのみ使用（最大）	
工場出荷時	0000 時間		100%
ランプ交換時間（目安）※	3500 時間	5000 時間	0%

※ 保証時間ではありません。

5

オンスクリーンメニュー

5-7. リセット

※この画面はNP216J/NP215Jのものです。

※この画面はNP210J/NP115J/NP110Jのものです。

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
言語・バックグラウンド・セキュリティ・通信速度・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・コントロール端子(NP216J/NP215J)・ランプ残量・ランプ使用時間・総CO2削減量・ネットワーク設定

●ネットワーク設定（適応機種 NP216J/NP215J）

次のネットワークの設定が工場出荷状態に戻ります。
・DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ

- ネットワーク設定は、リセット→全データではクリアされません。

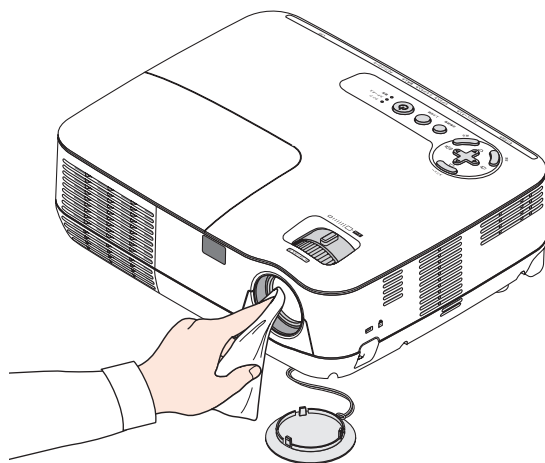
●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

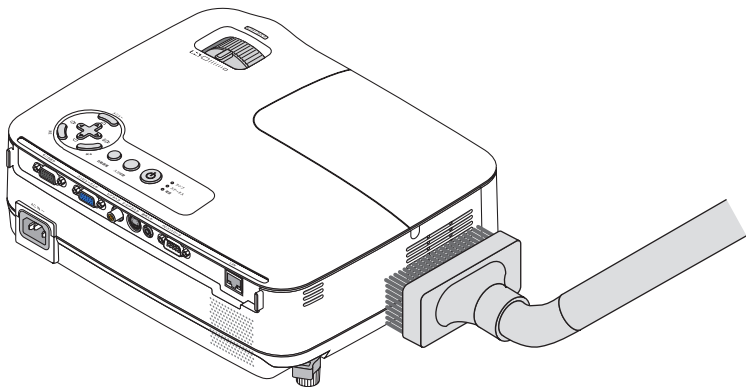
- ランプ時間は、リセット→全データではクリアされません。

6. 本体のお手入れ／ランプの交換

6-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。

6-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。

通風孔とスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが 100 時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

6-3. ランプの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）※1 （89 ページ）を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます※2。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモード「オン」で使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）※1 が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（88 ページ）をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名 NP13LP とご指定ください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）※1 に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

  ※ 1 保証時間ではありません。

  ※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の⏻ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。
  電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。

	ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプ交換の流れ

ステップ [1]

ランプを交換する（➲このページ）

↓

ステップ [2]

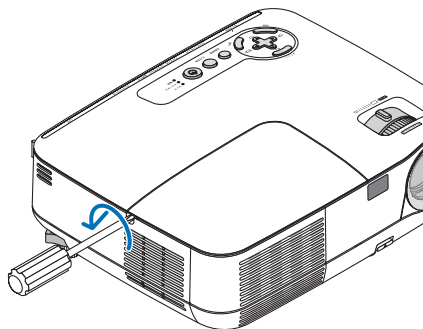
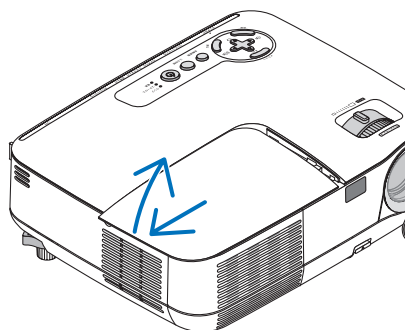
ランプ使用時間をクリアする（➲96 ページ）

ランプを交換する

準備：プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

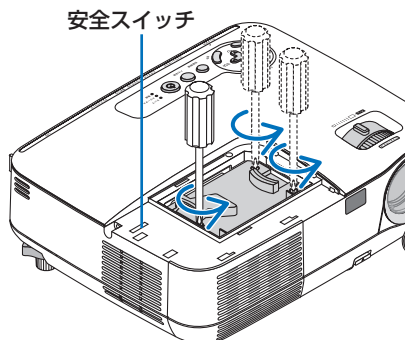
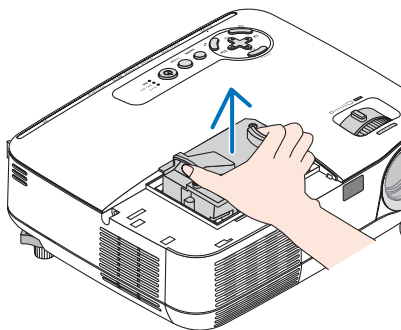
❶ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。

・ネジは外れません。

❷ランプカバーを左へスライドさせて取り外す。

2 ランプハウスを外す。

❶ランプハウス固定のネジ（3 箇所）を左に空転するまでゆるめる。

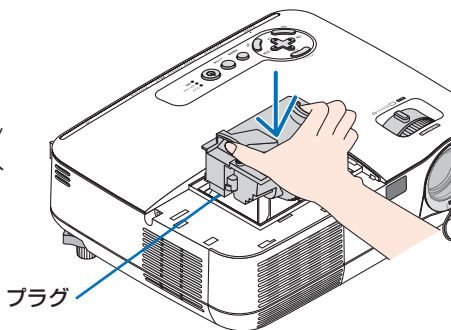
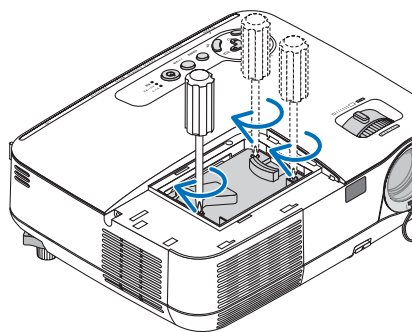
・ネジは外れません。

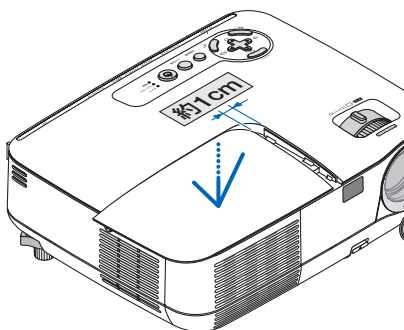
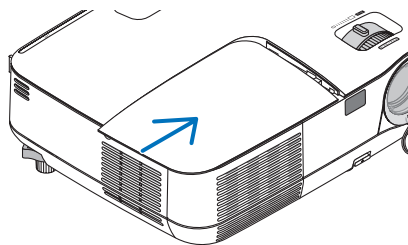
・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

・ランプハウス固定のネジをゆるめるときは、本体ががたつかないように、本体に手を添えて行ってください。

❷ランプハウスのつまみを指で挟んで持ち上げる。
・ランプハウスがキャビネットに当たるときは、ランプハウスを右によせてゆっくり持ち上げてください。

	高温に注意してください。ランプハウスが冷えていることを確認してから外してください。

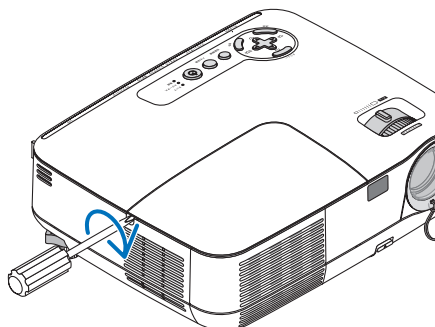
❸ 新しいランプハウスを取り付ける。

❶ランプハウスを静かに入れる。
・奥まで押し込んでください。

❷ランプハウスの左部分を押して、ランプハウスのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。

❸ランプハウス固定のネジ（3 箇所）を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。
・ランプハウス固定のネジをしめるときは、本体ががたつかないように、本体に手を添えて行ってください。

❹ ランプカバーを取り付ける。

❶右の図のように、ズームレバー側に約 1cm の隙間があくようにランプカバーを取り付ける。

❷ランプカバーを右へスライドさせる。

❸ランプカバーネジを右に回してしめる。

・ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間をクリアしてください。

● ランプ交換時間（目安）※ (89 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの（ヘルプ）ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

ランプ使用時間をクリアする

1 本機を投写する場所に設置する。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3 ランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。
(90 ページ)

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	95
	ランプハウス固定のネジがゆるんでいませんか。	95
	ランプ交換時間（目安）※を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（ヘルプ）ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	89
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	103
	標高約1700m以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	84
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し、電源を入れてください。	46
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン（時間を選択）」にしていませんか。	85, 86

映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。	36, 37
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	26 ～ 30
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	73
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	106
	コンピュータ信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	44
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、100 ページをご覧ください。	―
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	68
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	90
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	53
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	―
	標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	84
映像が歪む	正しく設置されていますか。	39
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	42
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	41
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	39
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	104
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	―
映像の画質が悪い	コンピュータ信号（RGB）の場合、（自動調整）ボタンを押してください。	44
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	84
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	―
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	51 84

水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	74
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	106
コンピュータ信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	44 73 74
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	23
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	23
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	23
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	23
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。	82
	本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、別売のマウスレシーバをコンピュータに接続してください。	55
LAN に接続して制御できない、またはシリアルケーブルを接続して制御できない（NP216J/NP215J）	オンスクリーンメニューの「コントロール端子」の設定を確認してください。	87
スタンバイ時に外部機器から制御できない	オンスクリーンメニューの「スタンバイモード」の設定が「省電力」になっていないか確認してください。	85
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	102, 103
本機の動作が不安定になる	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続し、電源を入れてください。	46
3D 映像が視聴できない	本書の「3D 映像が視聴できないとき」をご覧ください。	63

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータ接続ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。
特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
  水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(➡ 88 ページ)

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  Fn キーを押したまま（⌐/▭ ）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。

  【コンピュータメーカーとキー操作の例】

キー操作	メーカー
Fn ＋ F2	MSI
Fn ＋ F3	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
Fn ＋ F4	HP、Gateway
Fn ＋ F5	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
Fn ＋ F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn ＋ F8	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
Fn ＋ F10	FUJITSU

  ※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
  表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Macintosh を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh 用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintosh および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Macintosh を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

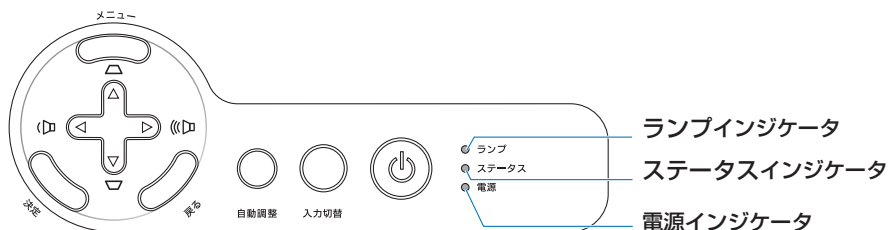
● PowerBook と本機を同時に表示させる場合

PowerBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Macintosh の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintosh に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Macintosh の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。

●電源インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		AC 電源供給なし	—
点滅	緑色（短い点滅）	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	緑色（長い点滅）	オフタイマー（有効状態）	—
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「ノーマル」）	—
	赤色	スタンバイ状態 （スタンバイモードが「省電力」）	—

●ステータスインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし、またはスタンバイ状態（スタンバイモードが「省電力」）	—
点滅	赤色（1 回周期）	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。（➡ 95 ページ）
	赤色（2 回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。（➡ 次ページ）
	赤色（4 回周期）	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色（6 回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1 分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。

点灯	緑色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。（➡ 81 ページ）
		プロジェクターのID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。（➡ 82 ページ）

●ランプインジケータ

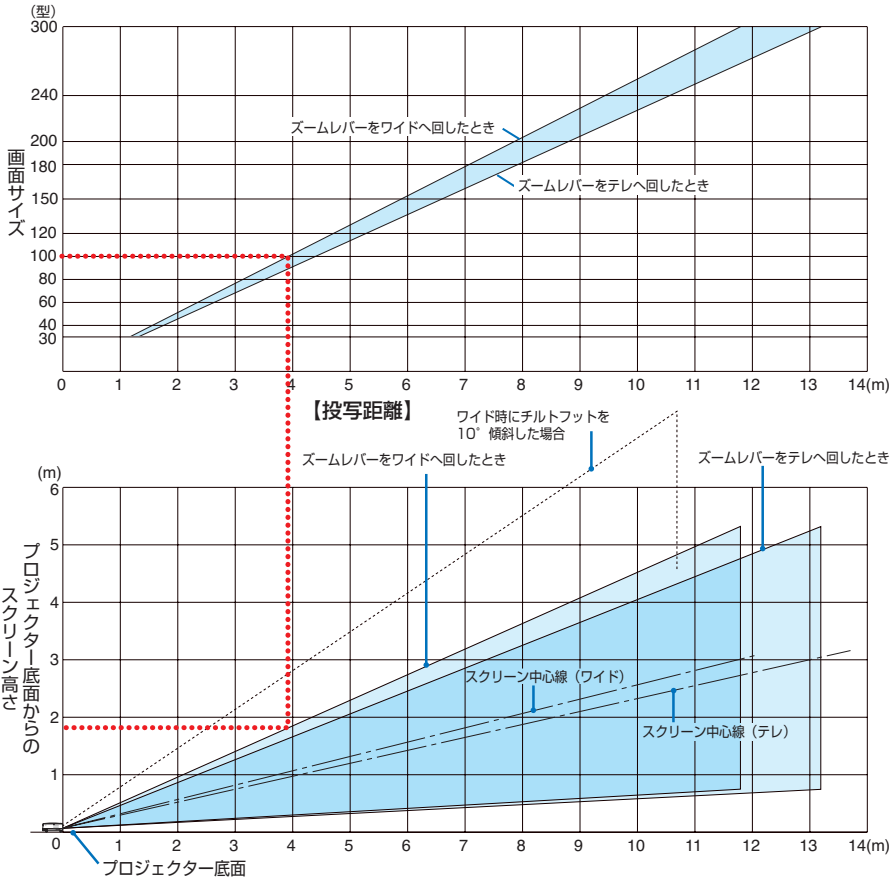
インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0%になり、ランプ交換の猶予時間（100 時間）中です。すみやかにランプを交換してください。（➡ 93 ページ）
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（➡ 93 ページ）
	緑色	エコモード「オン」時	—

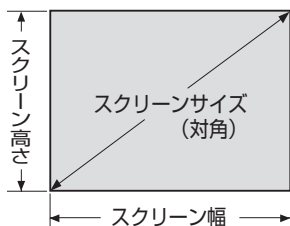
●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。
同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
このようなときは、以下のことを行ってください。

- 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（➡ 92 ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

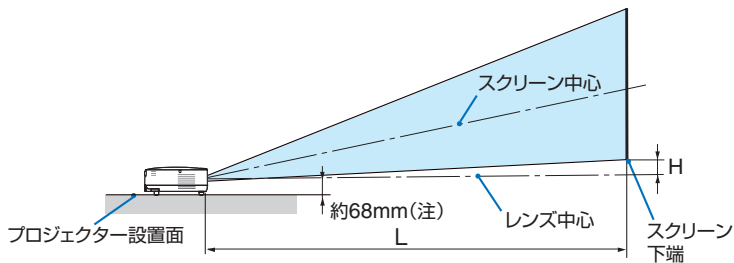
投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。
フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.2m（30 型の場合）～ 13.2m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。

【表のみかた】
上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3.9m 付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクター設置面からスクリーンの上端までが約 1.8m 必要となりますので、プロジェクターを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。
チルトフットにより上へ最大約 10˚上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表

サイズ（型）	スクリーン幅（cm）	スクリーンの高さ（cm）
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	122.0
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
180	365.8	274.3
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）

スクリーンサイズ（型）	投写距離 L（m）		寸法 H（cm）
	ワイド時	テレ時	
30	1.18	1.32	6.9
40	1.57	1.76	9.1
60	2.36	2.64	13.7
80	3.15	3.52	18.3
100	3.93	4.40	22.8
120	4.72	5.28	27.4
150	5.90	6.60	34.3
180	7.08	7.92	41.1
200	7.87	8.80	45.7
240	9.44	10.56	54.8
300	11.80	13.20	68.5

（注）プロジェクター設置面からレンズ中心までの高さ
（チルトフットを最小にした高さを含む）

● 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

対応解像度一覧

機種		解像度	走査周波数		対応状況	
			水平（kHz）	垂直（Hz）	NP216J/ NP215J/ NP210J	NP115J/ NP110J
ビデオ	NTSC	-	15.73	59.94	◎	◎
	PAL	-	15.63	50.00	◎	◎
	PAL60	-	15.73	60.00	◎	◎
	SECAM	-	15.63	50.00	◎	◎
IBM PC/AT 互換機		640 × 480	31.47	59.94	◎	◎
		640 × 480	31.48	59.95	◎	◎
		640 × 480	37.86	72.81	◎	◎
		640 × 480	37.50	75.00	◎	◎
		640 × 480	39.38	75.00	◎	◎
		640 × 480	43.27	85.01	◎	◎
		800 × 600	35.16	56.25	◎	◎
		800 × 600	37.88	60.32	◎	◎
		800 × 600	48.08	72.19	◎	◎
		800 × 600	46.88	75.00	◎	◎
		800 × 600	53.67	85.06	◎	◎
		1024 × 768	48.36	60.00	◎	○
		1024 × 768	56.48	70.07	◎	○
		1024 × 768	60.02	75.03	◎	○
		1024 × 768	68.68	85.00	◎	○
		1280 × 768	47.78	59.87	○	○
		1280 × 800	49.70	59.81	○	○
		1280 × 960	60.00	60.00	○	○
		1280 × 1024	63.98	60.02	○	○
		1400 × 1050	—	60.00	○	○
		1600 × 1200	75.00	60.02	○	○
Apple Macintosh®		640 × 480	35.00	66.67	◎	◎
		832 × 624	49.72	74.55	◎	○
		1024 × 768	60.24	74.93	◎	○
HDTV	1080i/60	1920 × 1080	33.75	60.00	○	○
	1080i/50	1920 × 1080	28.13	50.00	○	○
	720p/60	1280 × 720	45.00	60.00	○	○
	720p/50	1280 × 720	37.50	50.00	○	○
SDTV	576p	—	31.25	50.00	◎	◎
	480p	—	31.47	59.94	◎	◎
DVD	YCbCr	—	15.73	59.94	◎	◎
		—	15.63	50.00	◎	◎

・ 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
・ コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。
・ 圧縮表示の場合、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。

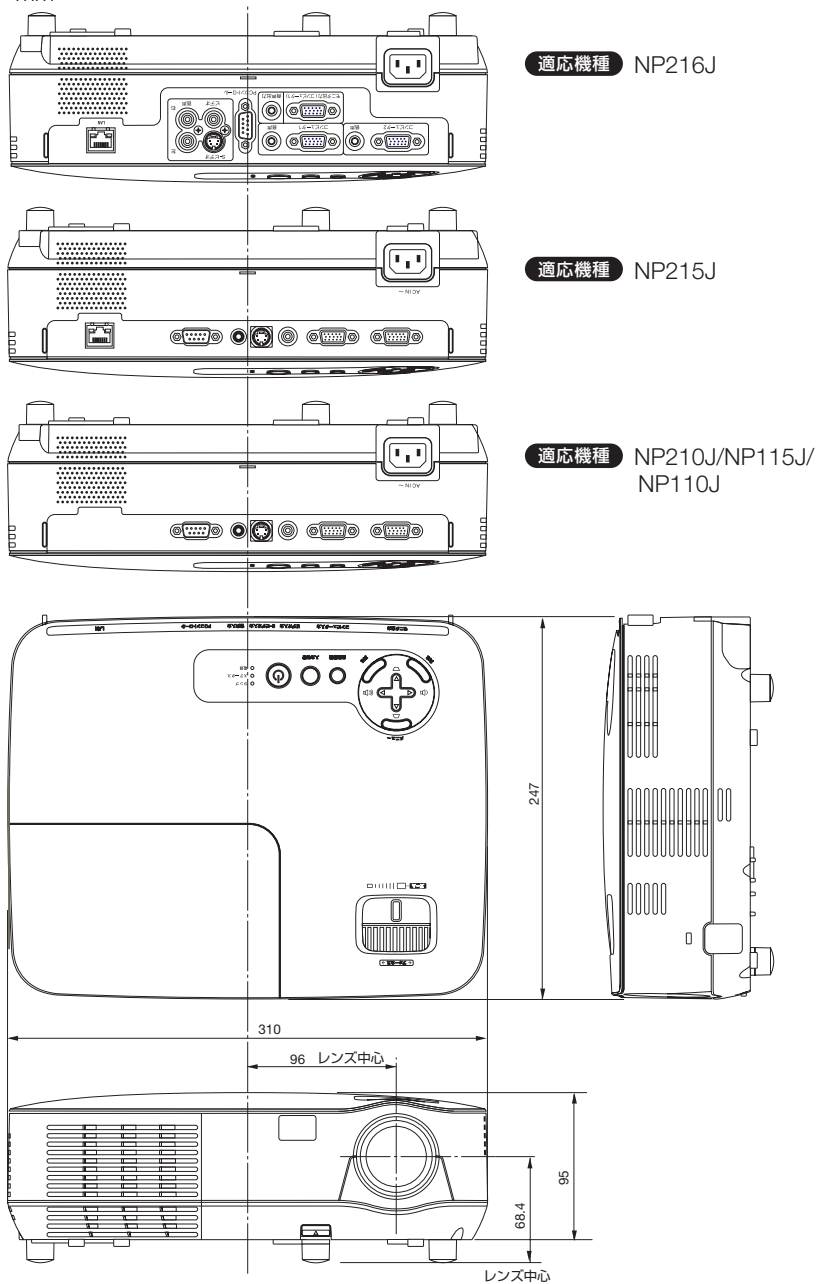
◎：リアル表示
○：圧縮表示により対応

外観図

NP216J、NP215J、NP210J、NP115J および NP110J の外形寸法およびキャビネットの外観は同じです。NP216J、NP215J は接続端子部のみ異なります。

単位：mm

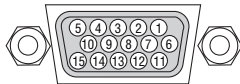
付録

7

別売品

商　　品　　名		形　　名
ランプ	交換用ランプ	NP13LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP11CM
液晶シャッタ眼鏡	3D 対応プロジェクター用メガネ	NP01GL

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル

信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTL レベル

ピン番号	RGB 信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　接　地
7	緑　　接　地	Y　接　地
8	青　　接　地	Cb　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

仕様

形名			NP216J/NP215J/NP210J	NP115J/NP110J
方式			単板 DLP 方式	
主要部品仕様	DLP チップ	サイズ	0.55 型（アスペクト比　4：3）	
		画素数（*1）	786,432 画素 （1024 ドット× 768 ライン）	480,000 画素 （800 ドット× 600 ライン）
	投写レンズ	ズーム	マニュアル（1 ～ 1.1 倍、f=21.8 ～ 24.0mm）	
		フォーカス	マニュアル	
	光源		180W　AC ランプ（エコモード「オン」時 160W）	
	光学装置		光学装置 カラーフィルタ回転による色分離	
明るさ（*2）（*3）			NP216J/NP215J:2500lm NP210J:2200lm	NP115J:2500lm NP110J:2200lm
コントラスト比 (*2) (全白 / 全黒)			2000：1	
画面サイズ（投写距離）			30 ～ 300 型（1.18 ～ 13.2m）	
色再現性			フルカラー 1,677 万色	
音声出力			7W モノラルスピーカ内蔵	
走査周波数		水平	15 ～ 100kHz（RGB 入力は 24kHz 以上）	
		垂直	50 ～ 120Hz（1024 × 768 を超える解像度の信号は、85Hz 以下のみに対応）	
主な調整機能			マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替（コンピュータ / ビデオ /S- ビデオ）、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート（映像 / 音声とも）、オンスクリーン表示 / 選択など	
最大表示解像度（横×縦）			1600 × 1200（圧縮表示による対応）	
入力信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性	
			H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω	
	S- ビデオ		Y:1.0Vp-p / 75 Ω	
			C:0.286Vp-p / 75 Ω	
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω（With Sync）	
			Cb,Cr（Pb,Pr）:0.7Vp-p / 75 Ω	
			DTV: 1080i, 720p,480p,480i（60Hz） 1080i,576p, 576i（50Hz）	
			DVD: プログレッシブ信号（50/60Hz）	
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上	
入出力端子	（NP216J）			
	コンピュータ	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン× 2	
		音声入力	ステレオミニジャック× 2	
	モニタ出力	映像出力	ミニ D-Sub15 ピン× 1	
		音声出力	ステレオミニジャック× 1	
	ビデオ	映像入力	RCA × 1	
		音声入力	RCA(RCA L/R) × 1(S- ビデオの音声入力端子と共通)	
	S- ビデオ	映像入力	ミニ DIN4 ピン× 1	
	PC コントロール端子		D-Sub9 ピン× 1	
	LAN ポート		RJ-45 × 1、10/100 BASE-T	

付録

7

形名			NP216J/NP215J/NP210J	NP115J/NP110J
入出力端子	（NP215J/NP210J/NP115J/NP110J）			
	コンピュータ	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1	
		音声入力	ステレオミニジャック× 1（ビデオ、S- ビデオの音声入力端子と共通）	
	モニタ出力	映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1	
	ビデオ	映像入力	RCA × 1	
	S- ビデオ	映像入力	ミニ DIN4 ピン× 1	
	PC コントロール端子		D-Sub 9 ピン× 1	
	LAN ポート（NP215J のみ）		RJ-45 × 1、10/100 BASE-T	
使用環境			動作温度 :5 ～ 40℃（*4） 動作湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
			保存温度 : － 10 ～ 50℃ 保存湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
電源			AC 100V 50/60Hz（*5）	
消費電力	エコモード「オフ」時		242W	
	エコモード「オン」時		217W	
	スタンバイ時		4W（省電力時 0.49W）	
定格入力電流			2.6A	
外形寸法			310（幅）× 95（高）× 247（奥行）mm（突起部含まず）	
質量			約 2.5kg	

（＊ 1）： 有効画素数は 99.99%です。

（＊ 2）： 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

（＊ 3）： エコモードが「オフ」で、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。エコモードを「オン」にすると、明るさが約 90% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

（＊ 4）： 35 ～ 40℃は「強制エコモード」になります。

（＊ 5）： 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。　※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他(　　　　　　　　　)

電源関係

□電源が入らない（電源インジケータが緑色に点灯しない）。
- □電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ランプカバーは正しく取り付けられている。
- □ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
- □(⏻)ボタンを1秒以上押しても電源が入らない。

□使用中、電源が切れる。
- □電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ランプカバーは正しく取り付けられている。
- □オートパワーオフは「オフ」に設定されている。
- □オフタイマーは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

□コンピュータの画面が投写されない。
- □コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。
- □ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。

  IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピュータによって異なります）。

□映像が出ない（ブルーバック・ロゴ・表示なし）。
- □(自動調整)ボタンを押してもなおらない。
- □リセットを実行してもなおらない。
- □入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □画面に何かメッセージが出ている。
  （　　　　　　　　　　　　　　）
- □接続している入力を選択している。
- □明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□映像が暗い。
- □明るさ・コントラストを調整してもなおらない。

□映像が歪む。
- □台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

□映像が切れる。
- □(自動調整)ボタンを押してもなおらない。
- □リセットを実行してもなおらない。
- □水平または垂直方向に映像がずれる。
- □コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
- □入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □数ドット欠けている。

□映像がちらつく。
- □(自動調整)ボタンを押してもなおらない。
- □リセットを実行してもなおらない。
- □コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
- □ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。

□映像がぼやける・フォーカスが合わない。

□音声が出ない。
- □音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
- □音量を調整してもなおらない。

その他

□リモコンが利かない。
- □リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。

□本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において
- □本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
- □本体の(戻る)ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名： □ **NP216J** □ **NP215J** □ **NP210J** □ **NP115J** □ **NP110J**

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

エコモード： □オフ □オン

入力信号情報：

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H □(+) □(−)
V □(+) □(−)

同期形態 □セパレート □ミックス □Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯（オレンジ・緑）

点滅（　回周期）

設置環境

スクリーンサイズ：　型

タイプ： □ホワイトマット □ビーズ □偏光 □広視野角 □ハイコントラスト

投写距離：　m

投写方法： □天吊り □床置き

電源コンセントは？

□壁からのコンセントを直接利用している。

□電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数：　台）

□電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数：　台）

コンピュータ

メーカー：

形名：

ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：

プロジェクター

ノートブックコンピュータ

DVDなど

信号ケーブル

純正・その他
（形名：　長さ：　m）

分配器
形名：

スイッチャ
形名：

アダプタ
形名：

接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー：

形名：

海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介

この商品には、NEC ディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。
なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国の NEC ディスプレイソリューションズ指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。
本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話または E メールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙 "Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAX にて送信してください。
各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1　修理サービス

輸送期間を除く、実働 10 日以内に修理してお届けいたします。
保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2　代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。
料金：12 日間 US$ 200
料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。
代替機は、実働 3 日以内にお届けいたします。
ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。
また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター･カスタマサポートセンター （115 ページ）にお問い合わせください。

保証期間

1 a　お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、またはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b　本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号（SERIAL NO.）の製造年月より 14 か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

1）保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号（SERIAL NO.）、販売店名の記入のない場合、または字句を書き変えられた場合。
2）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
3）お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
4）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
5）高温・多湿の場所、車輌、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
6）本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
7）正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
8）ランプなどの消耗品、および添付品、別売品が故障および損傷した場合。
9）その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。

	海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより 100-240V で使用可能です。 使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。 詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（次ページ参照）までお問い合わせください。

トラベルケア窓口リスト

このリストは、2010 年 3 月 1 日現在のものです。
最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページまたは当社 ViewLight CLUB ホームページ
http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/ をご覧ください。
また、詳細に関しては、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター　0120-610-161
（受付 9：00 ～ 18：00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く）

〔欧州〕In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.
Telephone: +44 1952 237000
Fax Line: +44 1952 237006
Email Address: AFR@uk.neceur.com
WEB Address: http://www.neceur.com

（対応地域）<Regions Covered>

EU: Austria*, Belgium*, Bulgaria*, Czech Republic*, Cyprus*, Denmark*, Estonia*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Hungary*, Ireland*, Italy*, Latvia*, Lithuania*, Luxembourg*, Malta*, The Netherlands*, Poland*, Portugal*, Romania*, Slovakia*, Slovenia*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*
EEA: Norway *, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕In North America

NEC Display Solutions of America, Inc.

Address: 500 Park Boulevard, Suite 1100 Itasca, Illinois 60143, U.S.A
Telephone: +1 800 836 0655
Fax Line: +1 800 356 2415
Email Address: vsd.tech-support@necdisplay.com
WEB Address: http://www.necdisplay.com/

（対応地域）<Regions Covered>

U.S.A. *, Canada *

〔大洋州〕In Oceania

AWA Limited.

Address: 151 Arthur Street
Homebush West NSW 2140 Australia
Customer Call Centre
Telephone: 0297647777
Fax Line: 1300772688
Email: commercialsupport@awa.com.au

For Travel Care service, while customer is in Australia, the customer will contact AWA on 1300366144, select Option 4. If you want to book warranty service by email customer goes to: commercialsupport@awa.com.au.

（対応地域）<Regions Covered>

Australia

＊：代替機貸出サービスが受けられます。

次ページに続く

Visual Group Ltd.
Address: 28 Walls Road Penrose Auckland New Zealand
Telephone: 095250740
Fax Line: 095809607
Email: sarah.reed@visualgroup.co.nz
（対応地域）<Regions Covered>
New Zealand

〔アジア・中近東〕In Asia and Middle East

NEC Solutions (China) Co.,Ltd.
Address: Rm 1903, Shining Building, 35 Xueyuan Rd,
Haidian District Beijing 100083, P.R.C.
Telephone: +8610 82317788
Fax Line: +8610 82331722
Email Address: zheng_zheng@nec.cn
lily@nec.cn
WEB Address: http://www.necsl.com.cn
（対応地域）<Regions Covered>
China

NEC Hong Kong Ltd.
Address: 25/F.,The Metropolis Tower, 10 Metropolis Drive, Hunghom,
Kowloon, Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: nechksc@nechk.nec.com.hk
esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: http://www.nec.com.hk
（対応地域）<Regions Covered>
Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.
Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1700
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: eric@nec.com.tw
WEB Address: http://www.nec.com.tw
（対応地域）<Regions Covered>
Taiwan

NEC Asia Pte. Ltd.
Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: ncare@rsc.ap.nec.com.sg
WEB Address: http://www.nec.com.sg/
（対応地域）<Regions Covered>
Singapore

NEC Corporation of Malaysia Sdn. Bhd.
Address: 33rd Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee,
50250 Kuala Lumpur, Malaysia
Telephone: +6 03 2178 3600 (ISDN)
Fax Line: +6 03 2178 3789
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp
WEB Address: http://www.necmalaysia.com.my/home.html
（対応地域）<Regions Covered>
Malaysia

Hyosung ITX Co., Ltd.

Address: 1st Fl., Ire B/D. #2, 4Ga, Yangpyeng-Dong,
Youngdeungpo-Gu, Seoul, Korea 150-967
Telephone: +82 2 2163 4193
Fax Line: +82 2 2163 4196
Email Address: moneybear@hyosung.com

（対応地域）<Regions Covered>
South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark,
Bangkapi, Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: http://www.lensocom.com/

（対応地域）<Regions Covered>
Thailand

e-flex L.L.C.

Address: Al Suwaidi Road, Rashidiya 43500 Dubai
United Arab Emirates
Telephone: +971 4 2861533
Fax Line: +971 4 2861544
Email Address: sc@eflex.ae

（対応地域）<Regions Covered>
United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: Mohamed.asif@samirgroup.com

（対応地域）<Regions Covered>
Saudi Arabia

Date: /   /   ,   P-1 / ,

TO: NEC Display Solutions' Authorized Service Station:

FM:

____

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.
Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of "Service" available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The 'Faulty unit' is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can't be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired.

The customer can borrow a unit for US$ 200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Display Solutions' Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Display Solutions' Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US$ 200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector's serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Display Solutions' Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Display Solutions' neglect, or fault including the following without limitation:

1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Display Solutions or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Display Solutions to adjust, modify, repair, install or service the product.
6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase.
Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this “loan” replacement unit.
The current cost of use of this loan unit is US$ 200 for 12 calendar days.
If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Display Solutions' Authorized Service Stations.
Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the ‘loan’ unit.
If you return to their country of origin with the ‘loan’ unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

五十音

●商標について

- ViewLight、ビューライトは、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh、PowerBook、Mac OS X は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- DLP（Digital Light Processing）、BrilliantColor はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
（1）お買い上げから6か月間。
（2）ランプ残量（88ページ）が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はNECプロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（97ページ）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（111, 112ページ）で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従ってNECプロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	NECデータプロジェクター
形　　名	NP216J/NP215J / NP210J / NP115J / NP110J
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋
・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋
・引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161 **FAX 0120-134-516**

受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ http://www.nec-display.com/jp/support/projector/

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料

●より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社

〒 108-0023 東京都港区芝浦四丁目 13 番 23 号 （MS 芝浦ビル）